

入学試験問題集

令和8年度

対話の先に未来を創る



MORIOKA UNIVERSITY

盛岡大学

目 次

令和8年度 入学試験問題出題者講評.....	1
令和8年度 学校推薦型選抜	
小論文（文学部）	8
小論文（栄養科学部）	9
令和8年度 総合型選抜（併願制）	
小論文（文学部）	10
令和8年度 一般選抜 試験問題	
国 語（文学部）	16
理 科（栄養科学部）	31
英 語（文学部・栄養科学部）	40
解答例.....	51

令和 8 年度 入学試験問題出題者講評

学校推薦型選抜 小論文（文学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

1980 年代に刊行された『バナナと日本人』（鶴見良行著、1982 年、岩波新書）、『エビと日本人』（村井吉敬著、1988 年、岩波新書）はともに、大学生向けの推薦図書に名を連ねることが多い。どちらも日常的に食べているものがどこで、誰によって作られ、どのように流通し、その背後にはどのような社会問題があるのか、そして消費国・日本と生産国の東南アジアの関係は実際のところどのようなものなのかを知ることができる。今回の課題文は「アボカドと豊かな国々」と言える。21 世紀におけるアボカドの生産国と消費国の関係はグローバルなものであり、そのいびつな関係がもたらす影響も地球規模である。面接試験において持続可能な開発目標（SDGs）に言及する受験生が散見されるが、本学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）にある「身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて考え、その結果を説明することができる」能力を有しているかという観点から、SDGs に関わる具体的な問題を理解し、考えることを期待して出題した。

問 1 は要約とした。アボカドの大量消費と大量生産が何を引き起こしているのか、それら諸問題を把握し、筆者の意見を読み取る必要がある。

問 2 は問 1 を踏まえた意見の論述とした。課題文が提示している諸問題のどれか、あるいはいくつかを論点化し、論評や対応策等を含めた意見をまとめるためには一定の論理的思考能力を必要とする。

問 1・問 2 を通じて、誤字・脱字および文法の誤り等も採点対象としている。なお、課題文の中に誤字（漢字の誤り）を確認したが、もとの文章にあった誤りで、採点には影響しなかった。

2 採点後の講評

問 1・問 2 合計の満点は 10 点のところ、平均点は 6.73 点だった。昨年よりも若干低い。9 点以上得点した受験者の割合は全体の 1 割強で、これも昨年より低くなった。

問 1 は課題文に挙げられたアボカド生産・消費に関わる問題点を具体的に指摘できるかどうかを採点基準とした。課題文の筆者の意見は明確だが、その部分の書き写しに終始すると高得点はのぞめない。

問 2 は課題文の筆者の意見に賛成するにせよ、反対するにせよ（反対意見は僅少だったが）、受験生はなぜそう思うのかを説明し、加えて賛成反対の表明にとどまらず、論点を広げて意見を述べる必要がある。その場合、課題文に書かれていること以外の事柄に結びつけ立論がなされた解答は高く評価される。それは大学入学後の学修でも同様である。

学校推薦型選抜 小論文（栄養科学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

問題形式は、問題文および資料（図）を踏まえて解答させる資料提示型をとった。問では、わが国の政策における食品ロスの目標、現状・課題に関する問題文、食品廃棄物の発生状況と割合を示す概念図を踏まえて、「どのようなことをすれば、食品ロスを減らすことができるか」について、「個人の心がけ」、「企業の努力」の 2 つの面から、なぜそう考えたかという根拠を示したうえで、500 字以上 600 字以内で論じることを課した。その際、問の意図を踏まえ自分の考えを適切に展開できているかを評価した。問の意図を踏まえて

いない場合、解答が未完成あるいは字数超過・不足の場合は0点としたほか、主語・目的語・述語の対応、副詞、形容詞の使い方の誤り、文意が不明となるような文章構造上の誤り、文体の不統一、原稿用紙の誤用、誤字・脱字、送り仮名の誤り、話し言葉の使用、不適切・不明瞭な文字表記がある場合は減点した。

2 採点後の講評

問では、問題文と図を踏まえ、制限字数内で、「どのようなことをすれば食品ロスを減らすことができるか」について、「個人の心がけ」、「企業の努力」の2つの面から、根拠を示して自分の考えを述べる必要があった。

例えば、個人レベルでは、在庫メモと買い物メモの活用を習慣化することなどが考えられ、その根拠としては、在庫メモを確認してから購入する食品を決めることで、廃棄につながりかねない買い過ぎを防ぐことができる、などがあげられる。企業レベルとして食品小売業では、廃棄を生む前に値引きして売り切ってしまうことなどが考えられ、その根拠としては、早い時間から値引きすれば、買うつもりがなかった人が買う気になるなど効率的に商品をさばけるため、廃棄を生まなくて済む、などがあげられる。

問の意図を踏まえて適切に自分の考えを展開していたものがあった一方、問題の意図を踏まえていない、考えの根拠（理由）の説明がない、論旨が不明確である、段落構成が無いなど、内容の吟味が不十分なものもみられた。なお、受験生の平均点は40.1点であった（70点満点）。

総合型選抜（併願制） 小論文（文学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

この小論文問題では、疲労を抱えて生活している就労者が約8割へと上昇し、日本人の疲労が深刻化している中で生じる経済課題や、日本における社会構造などについて論じた文章の要点を捉えること（問1）、さらに、問1での課題文と問2での課題文及び図での内容を踏まえ、3つの国の就労時間外の時間の使い方の特徴について、受験者自身の考えを論じることを求めた。課題文については、「就労者の疲労と休息」に焦点をあてたものであり、仕事を休みにくいといった日本の社会構造や就労時間外での休息の取り方、時間の使い方の諸外国との比較に関する問題提起は、今後、就労者となる受験者においても、自分事として捉えることのできる内容である。

問1は、課題文の要点を150字以上250字以内でまとめることを課し、読解力及び規定の字数で要約する能力を問うた。問2は、課題文と図を踏まえて、自分の考えを400字以上500字以内で述べる問題であり、課題文と図の両方の要点を押さえた上で自分の考えをまとめる能力を問うた。

問1では、4つの要点が押さえられているか（1.現在、就労者の約8割が疲労を抱えて生活している。およそ25年の間に「疲れている」人の割合は6割から8割へと上昇し、日本人の疲労は深刻化している、2.疲労による経済損失は、医療費を除いて約1兆2000億円に上る。今後の損失額はさらに大きくなると予想される、3.疲れていても無理に働くことによって生産性は低下し、経済損失が生じる。さらに、ミスや事故のリスクも増大し、社会の安全を脅かす深刻な問題となりうる、4.諸外国と比較して日本の勤務時間は多くない。しかし、かつての価値観などによって、休みにくい社会構造がある）、要約文が全体として整合性をもっているか、を評価した。また、問1及び2とも、誤字脱字、送り仮名の誤り、不適切表記については減点対象とした。

2 採点後の講評

70点満点で、最低点は30点、最高点は66点であった。平均点は50.8点で約73%の正答率であった。問

1では多くの受験者が一部の要点を押さえていたものの、すべての要点が適切に押さえられていない解答も見られ、その点については減点の対象とした。特に、疲労による経済損失が医療費を除いて約1兆2000億円に上り、今後もさらに大きくなると予想される損失額について触れている解答が少なかった。また、問2では、課題文の要点を整理することに意識が向き、考えが不明瞭な解答や図に示されているデータに触れていない解答については得点が伸び悩んだ。一方、自身の考えが明確に示され、独自の論が展開できている解答については高い得点となった。課題文だけではなく、図の内容にも十分に注意して解答することを求めた。

一般選抜 国語（文学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

「現代の国語」「言語文化」の内容からの出題。問題は〔一〕〔二〕の大問二つから成り、〔二〕については（甲）と（乙）に分かれる。〔一〕と〔二〕の（甲）は近代以降の文章からの出題である。（乙）は古典分野からの出題であるが、昨年度から古文問題のみを課しており、漢文問題の出題は行っていない。〔一〕の解答は全受験者に必須、〔二〕は（甲）と（乙）のいずれか一方を選んで解答すればよい。

出題の傾向は例年とほぼ同じである。〔一〕と〔二〕の（甲）は漢字の読み・書き問題から始まり、本文中の表現の意味を問う問題、さらに文章内容の読解力を試す問題へと進む。〔二〕（乙）では、最初に文中の表現を口語訳する問題があり、本文内容が的確に読み解けているか確かめる問題へと続く。文法・文学史関連の問題も例年通り出題されている。全体を通じて、特に難問と言えるようなものはなく、語彙力および読解力を中心とした国語の基礎的な力があれば比較的容易に対応できるであろう。

2 採点後の講評

〔一〕

黒井千次『丸の内』からの出題。お気に入りのジャケットを着て外出した「男」であったが、ポケットの中から電話番号だけが書かれた紙片を見つける。相手先がわからなかったため、その番号に電話を掛けてみると、電話口からは聞き覚えのない女性の声。会話中、「男」の心情がどのように変化していくかの確に読み取りながら読解を進めたい。問一は漢字の読み・書き問題。五問とも正しく解答できている答案はあまり多くなかった。問二は本文中の表現の意味を問う問題。三問とも正答率は八割を超えていた。問三は本文から抜き出して答えるものである。抜き出し方が正しくないために減点されているケースがあった。不注意による失点は避けたい。問四の正答率は八割。よくできていた。問五、問六の正答率はいずれも六割。問五で③、問六で⑤を選ぶ誤答がともに二割程度認められた。問七の正答率は四割強。①を選ぶ誤答が四割弱あった。「男」が眼鏡屋のあとで、すぐまた女に電話をするつもりであったというようなことは、本文中に書かれていない。問八の出来は悪く、正答率は三割程度。「男」が困っていたのは、その番号の相手が誰かわからなかったからであり、いつ書かれたかがわからなかったからではない。注意深く読んでいれば見抜けるところである。

〔二〕

（甲）広井良典『ケア学——越境するケアへ』からの出題。ケアという行為を一方的なものではなく、相互的なものとして捉え、その由来をさぐろうというもの。問一は漢字の書き取り問題。四問とも正しく解答できている答案はあまり多くなかった。問二は本文中の表現の意味を問う問題。三問とも外来語であったが、正答率は（1）、（2）は八割を超えていた。（3）は四割の正答率であった。聞き慣れない外来語であったかもし

れないが、本文の文脈から推測して答えることができる。問三は本文から抜き出して答えるものである。全体的によく出来ていた。繰り返される言葉に注意して読めば該当箇所はすぐに見つかる。問四の正答率は八割であった。問五は正答率が六割を越えていた。傍線部の直後に、答えにつながる記述があるので傍線部の前後はしっかりと読みたい。問六の正答率は五割であった。本文の議論の展開について問う珍しい設問だったために正答率が低くなったのかも知れないが、前後の議論の違いがどこにあるかをしっかりと把握できれば、それほど難しい問題ではないので落ち着いて本文を読みたい。問七は筆者の考えと合致する選択肢を選ぶ問題であったが、正答率は五割弱と低かった。筆者が述べていることであっても、筆者の主張が選択肢と重なっているかどうかをしっかりと見極めたい。

(乙)『枕草子』からの出題。歌人・清原元輔を父に持つ清少納言は、庚申待ちの夜、周囲が競って歌を詠む中でも沈黙を守る。それをからかった中宮定子に対し、元輔の子という立場でさえなければ、自分こそ今夜の歌を真っ先に何首でも詠んでいただろうと言り返す。問一は口語訳問題。正答率は(1)(3)が四割未満と低かった一方で、(2)は七割を超えており、よくできていた。問二は本文の解釈の核心に関わる部分我问う問題であったが、正答率は一割程度にとどまった。亡き父の名声を意識するあまり慎重になっているだけで、清少納言に歌を作る力がないわけではないことを読み取りたい。問三の正答率は四割弱。問四は文法問題であったが、おおむね完答できていた。問五は動作の主語を問う問題。正解は「宮」だが、「内的大臣殿」「おとど」という解答が多かった。「宮」から投げ与えられた文を読んで笑い出した清少納言に対し、「おとど」が「何事ぞ」と尋ねている点に注目したい。問六は正答が三割弱と低く、③を選ぶ誤答が五割を上回った。問七は文学史問題。ほとんどの受験生が正答できていた。古文は、導入文や注の中に解答の手がかりが示されている場合もある。試験時は時間の制約のため焦りがちであるが、問題文全体に丁寧に通す姿勢が重要である。

一般選抜 理科（栄養科学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

〔理科－化学基礎・生物基礎〕

教科書の内容を基軸とし、知識の有機的な結びつきと応用力を問うものである。化学では諸原理・法則の深い理解と正確な計算力を、生物では基礎知識の修得に加え、実験データの考察を通じた科学的判断力や事柄を因果関係で捉える洞察力を重視している。頻出分野の正確な理解に基づき、得られたデータから論理的に結論を導く思考力が求められる。

2 採点後の講評

〔理科－化学基礎〕

「知識の有機的な結びつき」と「事柄を因果関係で理解する力」を評価することに主眼を置き、単なる用語の暗記に留まらず、教科書の基本概念を実験結果の考察や計算に応用できる「科学的な判断力」を問う構成とした。全体の平均点は74.9点（100点満点）となり、教科書の基礎事項については良好な定着が見られたが、計算を伴う応用問題や論理的判断を要する設問において、得点差が開く傾向があった。

設問〔Ⅰ〕は物質の分類・状態変化について問うものである（平均20.7点／正答率82.8%）。空気や塩酸などの身近な物質の分類、および三態変化における用語（融解、凝固、昇華など）については非常に高い正答率であった。物質の構成に関する基礎知識は確実に定着している。

設問〔Ⅱ〕は金属の酸化還元反応・電池・製錬について問うものである（平均20.0点／正答率80.0%）。イ

オン化列の完成や、硫酸銅（Ⅱ）水溶液と鉄の反応におけるイオン反応式の記述などは概ね正確であった。電池の仕組みについても、正極・負極における酸化還元の定義を正しく理解し、電子の流れる方向を論理的に導き出している解答が多く見られた。

設問〔Ⅲ〕は酸・塩基と pH について問うものである（平均 16.3 点／正答率 65.2%）。全設問の中で最も正答率が低かった。特に「有効数字 2 桁を考慮した $[H^+]$ の算出」や「1000 倍希釈後の pH の推定」において、数値処理のミスや論理的な判断の誤りが見られた。科学の分野において必須である誤差と精度（有効数字）への理解、および希釈という操作が液性に与える影響を因果関係として捉える力が不足していることが窺える。

設問〔Ⅳ〕は化学量論・イオン反応式について問うものである（平均 18.0 点／正答率 72.0%）。化学反応式に基づいた量的関係（モル・体積・質量）の計算能力を試した。基本的な化学反応式の立式はできているが、過不足のある反応（問 3：マグネシウムと塩酸の反応）のように、複数の条件から結果を導き出す問題で失点が見られた。

化学の学習においては、個々の知識を単立させるのではなく、キーワードを用いて有機的に結びつけておくことが重要である。計算過程における正確さを養うとともに、実験結果から「なぜそのような結果になるのか」という因果関係を解明する思考訓練を積むことが強く求められる。

〔理科－生物基礎〕

設問〔Ⅰ〕は、生物の特徴と多様性に関する問題である。問 1 は、生命活動に必要なエネルギーを獲得するための呼吸について、数題にわたり受験者の理解度を測る。問 2 は、生態系のつながりについて、生物濃縮を例に理解度を測る。生体エネルギーと生態系の特徴について理解しておく必要がある。平均点は 33 点満点で 23.8 点（72.1%）であった。

設問〔Ⅱ〕は、生物の特徴である酵素の性質に関する問題である。実験問題を通じて酵素の性質について、数題にわたり受験者の理解度を測る。実験内容を理解し、酵素の性質、化学反応の特徴を理解しておく必要がある。平均点は、23 点満点で 13.7 点（59.3%）であった。

設問〔Ⅲ〕は、遺伝子とそのはたらきに関する問題である。遺伝情報の発現から転写・翻訳の一連の過程について、数題にわたり受験者の理解度を測る。生物の生命活動の存続に必要な遺伝情報の発現について理解しておく必要がある。平均点は、19 点満点で 12.6 点（66.1%）であった。

設問〔Ⅳ〕は、ヒトの体内環境の維持に関する問題である。ホルモンとその働き、体内環境の調節、内分泌系による調節について、数題にわたり受験者の理解度を測る。からだの状態の調節に重要である内分泌による情報伝達と調節、体内環境の維持について理解しておく必要がある。平均点は 25 点満点で 21.5 点（86.0%）であった。

一般選抜 英語（文学部・栄養科学部）

1 出題の意図（形式・傾向）

基本出題構成は、【第Ⅰ問＝文法、文章意図読解、第Ⅱ問＝短い対話と長い会話の内容読解問題、第Ⅲ問＝図、グラフの読み取り、第Ⅳ問＝読解問題】である。第Ⅰ問では、文中への適語の補充、先行する一文を読んだ上での後続文の予測を出題した。第Ⅱ問では対面会話内容からそこに埋め込まれた心理を予測する問題と、対面やインターネット上での双方向応答問題を出題した。第Ⅲ問では統計資料の読み取りを出題した。第Ⅳ問は長文読解問題とした。

2 採点後の講評

文学部 最高点は 98 点、最低点は 19 点、平均点は 63.1 点であった。

栄養科学部 最高点は 91 点、最低点は 29 点、平均点は 62.1 点であった。

〔Ⅰ〕

問 1 文中の空所に入れるべき適語を選択する問題である。とりわけ (1) の正答率が 15% を下回って低かった。④ threw が正解である。学生のがままな要求に対し教員がどのような身振りを示し得るか、想像し回答して欲しい。(2) の正答率も 40% を下回って低かった。too full of himself は「尊大であること」という意味である。

問 2 先行する文章を受け、その内容を咀嚼した上で、後続するのに適切な文脈を選択する問題である。(5)、(6) の正答率が 52% ～ 74% であった一方、(7) の正答率が低かった。季節の移り変わりを考えてみて、ふらふらして彷徨う様を頭に描けば正答に近づける。

〔Ⅱ〕

問 1 会話の流れを理解し、会話内の特定の発言や行動の意味を読み取り、そこに出現する事態の真相を問う問題である。(8)、(9) の正答率が 80% 以上で高く、読み込みができていた。一方、(10) の正答率は 60% を下回っていた。blocking my view は「視界を遮っている」という意味で、feel small は「ちっぽけに感じる」、さらに、「劣等感がある」という意味もあるので、話者の気持ちを読み解こうと努める必要がある。

問 2 (11)、(12) の正答率が高かった一方、(13) の正答率が低かった。「学生達は時間をつぶしているだけにしかみえない」という話者のコメントから、正答は①となる。

問 3 英語による比較的長い会話における対話内容が理解できるかを問う問題である。この部分における (14) ～ (16) の正答率は 88% ～ 92% で高かった。一方、(17) の正答率は 60% 台であって比べるとやや低かった。③は、2 番目に多く選ばれた選択肢だったが、対話内容から、③が事実として正しいとは断言できない。

問 4 ライブ配信の動画について同時に表示されるライブコメントの理解を問う問題である。この部分における正答率は、文学部では 62% ～ 76%、栄養科学部では 54% ～ 83% であって、問 3 と比べると低かった。互いに関連している場合もあればそうでない場合もあり、数多くの個別のコメントを読み解く方法を学ぶ必要がある。

〔Ⅲ〕 英語表記のグラフや表を読み取る力を問う問題である。

問 1 日本における外国人労働者数の推移と産業別外国人労働者のグラフを読み取る問題である。この部分の正答率は、文学部では (23) と (25) が 70% 以上、(22) と (24) が 80% 以上と高かった。栄養科学部では、(23) の正答率が 69% とやや低めであった。

問 2 電子書籍、オーディオブックなど形式別の世界の書籍売上高を示したグラフを読み取る問題である。設問 (28) の正答率は、文学部 57%、栄養科学部 34% と低い。設問は NOT correct 「正しくないもの」を問うていることに注意してほしい。選択肢③は「正しくないもの」とは言えない。(29)

も両学部ともに60%程度の正答率であった。CAN be saidは筆者の客観的な判断「～と言える」という意味である。

〔Ⅳ〕 個人の異文化適応能力における異文化感受性の段階について解説した長文についての読解問題である。昨年度に比べると本年度は、全体的に文学部、栄養科学部の受験者ともに問題によって正答率の偏りがあった。正答率が最も高い問題は(33)で、文学部の正答率が67%であり、栄養科学部が80%であった。2番目に正答率が高かったのが(32)で、文学部の正答率が63%、栄養科学部が66%であった。一方で、最も正答率が低い問題は(30)で、文学部が27%、栄養科学部が14%であった。(30)は語法の問題であり、読解そのものよりも単語力や熟語力に問題を抱えている学生が多いことが浮き彫りになった。

令和8年度 盛岡大学学校推薦型選抜 小論文（文学部）

次の文章を読み、あとの問に答えなさい。

中南米原産のアボカドは、現在もメキシコ、ドミニカ、ペルーなど、中南米をはじめ熱帯地域でそのほとんどが生産されているが、世界の需要の高まりとともに生産量は急激に増加している。最大の生産国メキシコの場合、この10年間で生産量、耕地面積とも2倍近く増えた。

ところが、平均的にアボカド栽培には1トン当たり1,800立方メートルの水が必要で、これはバナナ（790）、オレンジ（560）、スイカ（235）など多くの農作物と比べて、非常に高い水準にある。メキシコではオリンピックで使用されるプール3,800杯分の水がアボカド生産のために1日で使用される。

一般的に特定の農作物を大量に栽培し続けると土地が荒れやすいが、とりわけ大量の水を必要とするアボカドの生産量が急に増え、それにつれて違法な森林伐採が増えればなおさらだ。

もともとアボカドは乾燥地帯の作物で、その栽培に適した土地では定期的に雨量の少ない年も発生する。しかし、取引を優先させると、自然のサイクルを無視してまで無理な散水を行なうことになり、それは現地で深刻な水不足を引き起こす。

（中略）

農作物や畜産物は、ほぼ必ず水を消費して生産される。これらを海外から輸入することは、現地の水を消費していることにもなる。これは「バーチャル・ウォーター」と呼ばれる考え方だ。

美容や健康への意識が高まる豊かな国が、熱帯の国からアボカド輸入を増やすことは、バーチャル・ウォーターの量も増やすことになる。つまり、アボカド生産地の水不足は豊かな国のライフスタイルが一因なのだ。

付け加えると、生産国が熱帯に集中しているアボカドは、その輸送で発生するCO₂の量も多い。2個のアボカドの輸送で発生するCO₂は平均846.36グラムだが、これはバナナ1キロの輸送に必要な480グラムの約2倍にあたる。

つまり、現状のアボカド・ブームは地球温暖化対策に逆行する側面もあり、この原因の一旦も消費者の行動にある。

最後に、アボカド・ブームは中南米の難民危機の一因でもある。

中南米から難民としてアメリカに入国を目指す人の流れは途絶えることなく、今年4月だけで17万人以上がメキシコ国境に押し寄せた。そのなかにはメキシコ最大のアボカド産地ミチョアカン州から逃れてきた者も含まれる。

アボカド・ブームによって産地に資金が流入するにつれ、アボカドの強奪なども増え、それにともない農家に護衛させることを強要したり、恐喝したりするギャングも増えた。その多くは自動小銃などで武装し、なかにはドローンまで用いて警察や民間人を爆撃するものもある。

農家のなかには自警団を結成したりする動きもあるが、ギャングはこれも攻撃対象に加えている。ミチョアカン州から娘や孫とともに逃れてきた女性はアメリカメディアの取材に対して、「自警団員だった息子はギャングに殺され、捜査機関などに訴えないようにと自分も脅迫された」と証言している。

中南米諸国では従来、麻薬カルテルの暴力が市民を脅かし、これがアメリカに逃れようとする人の流れを生む一因になってきたが、近年ではここにアボカド・カルテルも加わっているのだ。これは難民危機をさらにエスカレートさせるものといえる。

アボカドがスーパー・フードであることは確かだ。しかし、アボカド・ブームはエコでも持続可能でもない。そのうえ、健康や美容を意識した豊かな国の過剰な消費は、産地の人々の安心や安全を脅かしている。

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）では、「持続可能な生産・消費形態」も目標としてあげられている。豊かな国におけるアボカドの大量消費は、見直すべき一つのライフスタイルといえる。

（六辻彰二の文章による）

問1 この文章を200字以内で要約しなさい。

問2 この文章について、あなたの意見を、論点を明らかにした上で400字以上500字以内で書きなさい。

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

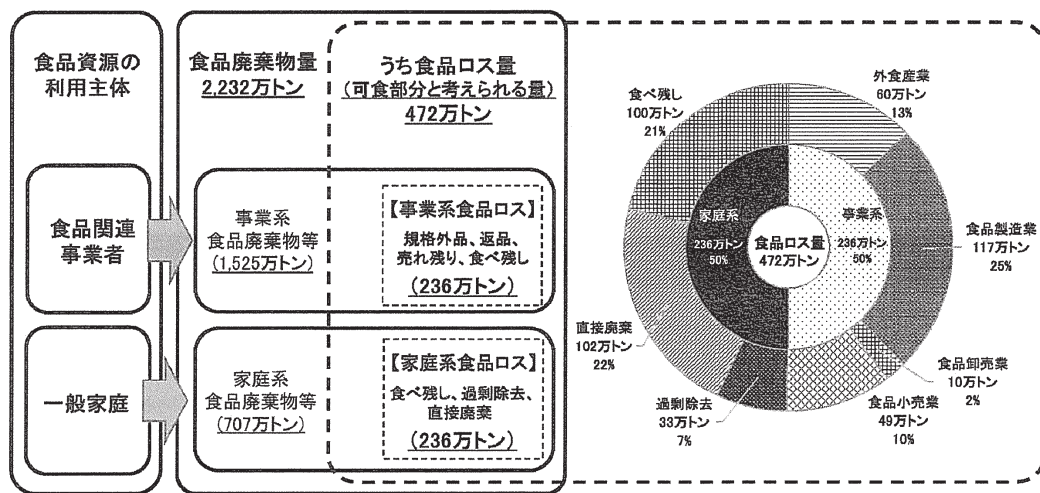
第4次食育推進基本計画（農林水産省）では、環境と調和のとれた食料生産とその消費に配慮した食育の推進に関連する目標として、「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民を増やす」ことや「環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす」こと等を設定しています。

食品ロス問題を放置すると、大量の食べ物が無駄になるだけでなく、環境の悪化や将来的な人口増加による食料危機にも適切に対応できないことが危惧されます。我が国では、食料及び飼料等の生産資材の多くを海外からの輸入に頼っている一方で、本来食べられるにもかかわらず廃棄されている食品ロスが、令和4（2022）年度の推計で472万トン発生しています。食品ロス量は年々減少傾向にあります。令和2（2020）年の国連世界食糧計画（WFPによる食料配布量（約420万トン））を上回っています。

令和 12（2030）年までに飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進するという SDGs の目標を達成するために、食品ロスの削減は国際的にも重要な課題です。国民一人一人が食品ロスの現状やその削減の必要性について認識を深め、自ら主体的に取り組むことが不可欠です。

問 問題文および次ページの図表の両方を踏まえ、どのようなことをすれば、食品ロスを減らすことができるかについて、「個人の心がけ」、「企業の努力」の2つの面から、なぜそう考えたかという根拠を示したうえで、500字以上600字以内で、あなたの考えを書きなさい。

食品廃棄物の発生状況と割合 <概念図>



資料:「食品ロスを減らそう! 今日からできる家庭での取組」政府広報オンライン
<https://www.gov-online.go.jp/article/201303/entry-7526.html>

出典)

農林水産省：令和3年度食育白書，3 環境に配慮した食生活に対する国民の考え方や実践の状況，
https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/r3/r3_h/book/part1/chap2/b1_c2_1_03.html （2025 年 5 月
 12 日アクセス）（一部改変）

政府広報オンライン：「食品ロスを減らそう！今日からできる家庭での取組」
<https://www.gov-online.go.jp/article/201303/entry-7526.html> (2025年6月23日アクセス)(一部改変)

【課題文】と【図】を踏まえ、後の問に答えなさい。

【課題文1】

ぶしつけですが、あなたは今、疲れていませんか？

おそらく、「すごく疲れている」か、「まあまあ疲れている」のどちらかではないかと思います。

なぜそういえるのでしょうか。

われわれ日本リカベリ―協会は、就労者10万人を対象に、疲労に関する調査をおこなっています。その結果、ここ数年は全体の約8割が疲労を抱えて生活していることが判明しているのです。

今からさかのぼること二十数年前、1999年に厚生省が60代までの就労者を対象に疲労度の調査をしたことがあります。このときは、「疲れている」と答えたのは就労者の約6割でした。

つまり、疲れた日本人はおよそ25年で約6割から約8割に増えたことになります。
（図表1－1省略）

約8割とは、「大多数の人が疲れている」といつてもいい、驚きの数字です。日本人の「疲れ」は深刻な状況だともいえます。

（中略）

1999年の厚生省の調査は、厚生省疲労調査研究班というところが実施しました。この研究班が文部科学省の補助金を受けて、2004年から疲労についての調査をおこなった結果、慢性疲労症候群（生活に支障をきたすような疲労が6カ月以上続く状態）の人たちがもたらす経済損失の金額が明らかになりました。

その額なんと約1兆2000億円に上ります。びっくりするような数字ですね。しかもこれは、医療費を除いた金額です。

6割の人が疲れていたときで1・2兆円だったのですから、それが8割に増えたら、いったいいくらになるのでしょうか。この試算はまだありませんが、1・2兆円で済まないのは間違いありません。

では、なぜこのような巨額な経済損失が生じるのでしょうか。それは一言でいえば、疲れているのに無理をして働き続けることで、生産性が下がるからです。

最近、企業の生産性を測る指標として、「プレゼンテイズム (Presenteeism)」とか「アブセンテイズム (Absenteeism)」という言葉が使われるようになってきました。お聞きになったことがある方もいると思います。

プレゼンテイズムとは日本語では「疾病就業」と訳され、具合が悪いのに出社していることをいいます。頭痛や胃腸の不調、軽度のうつ、花粉症などのアレルギー症といった「つらくても無理をすれば出社できる程度の疾病」によって、本来発揮されるべきジョブ・パフォーマンス（職務遂行能力）が低下してしまっている状態です。

米国ではプレゼンテイズムによって、年間約1500億ドル（約21兆円）の損失が出ているそうです。

一方のアブセンテイズムは「病欠」にあたります。プレゼンテイズムの状態がさらに進んで、出社できない状態をいいます。

疲労によってこのような状態になってしまった人にも、企業は給与を支払い続けます。しかし体調が悪いのに無理をしても生産性が上がらないため、「損失」としてカウントされてしまうのです。

（中略）

1999年のデータでは疲れを感じている人は全体の約6割だったのに、それがいま約8割になっているということは、今後この流れがさらに加速するかもしれません。もしこのまま疲れた人がどんどん増えて、疲れた人が10割になったら世の中はどのようなになってしまうのでしょうか。

生産性が低いから経済成長も見込めないでしょうし、疲れているとミスが起きやすくなりますから、人命にかかわるようなとんでもない事故が起こる可能性もあります。特に、乗り物の運転手や医療従事者など、人の命を預かる仕事に就く人たちの疲れは、安心・安全な社会の妨げにさえなります。

ある年代より上の人は、「日本人は働きすぎだ」とか「働きぐずだ」とさかんにいわれた時代があったことを覚えているでしょう。

しかし、現在の日本の勤務時間の長さや休日の日数などを諸外国と比較すると、実はそれほど働きすぎというわけではありません。

とはいっても、勤勉な国民性であり、休むことを罪悪と捉える傾向があるのはだけかです。

(中略)

ここで1つ質問です。あなたは疲れたことを理由に、仕事を休んだことがありますか？

朝起きたら何だか疲れている。体も重だるい。そんなとき会社に連絡して、

「今日は疲れているので、休ませてください」

とお願いしたことがある人はどれだけいるのでしょうか。

「そんなことをいったら、『冗談はよせ』と一蹴されるに決まっている」

『君だけじゃない、みんな疲れているんだ。さっさと会社に来い』と返されるのが関の山です」

という皆さんの答えが聞こえてくるようです。

それどころか、有給休暇さえ、上司がイヤな顔をするので申請しづらいというのが現実かもしれません。

何しろ日本は、学校を1日も休まなかった人を表彰する「皆勤賞」まであり、毎日休まず会社や学校に行くこと自体に価値をおく社会です。まだまだ多くの人が、休むことイコールなまけること、さぼることだと捉え、休むことに罪悪感を抱いています。

疲れていればパフォーマンスが出ないことはみんなわかっています。それでも自分だけ勝手に休むわけにはいかない。だから出社はするけれど、能率が全然上がらない。いったん出社すれば、上司が帰らないと自分も帰れない。「遅くまで会社に残っていると熱心だ」「早く帰るやつは仕事をしていない」といわれる……。

こうした「疲れているのが当たり前」「疲れたら休むという当たり前のことができない社会」はやはりおかしいのではないのでしょうか。

【課題文2】

OECD（経済協力開発機構）が2021年国別の平均睡眠時間を調べたデータがあります。OECD加盟国の平均は508分（8時間28分）。日本は残念ながら442分（7時間22分）で、わが国の睡眠時間はOECD加盟国の中で最下位です。

実はこの手の調査をするといつもリスト1、2を争うのが日本と韓国なのですが、韓国もやはり睡眠時間が短く、7時間51分です。

一方、私も住んでいたことのあるドイツはほぼ平均値で、日本よりおよそ1時間長く寝ていることになります。

（中略）

日本は労働時間が長いイメージがありますが、年間で1607時間と、実は世界の平均である1752時間より少ないのです。一方、休みが多いことで有名なドイツは1341時間で、日本と比べると266時間短くなっています。1日8時間労働として計算すると年間でおおよそ33日も多く休んでいることになります。

ドイツの例を聞くと、「やはり日本人は働きすぎでは……」という気持ちになりますね。しかし、繰り返しますが、日本の平均労働時間は、OECD加盟国平均の1752時間よりも145時間少ないのです。「休みが少ない」という印象があるわりには、意外と休んでいるといえそうです。

一方で日本と同じくらい睡眠時間が短い韓国は、年間の平均労働時間が1901時間に上ります。これも1日8時間で計算すると日本より36・8日長く働いていることになります。韓国人は、労働時間が長くて睡眠時間も短いわけですから、かなり疲れているのではないのでしょうか。

（中略）

ここからはほかの国の人たちが、どんな休み方をしているかという話です。

図表1-4は、日本人、ドイツ人、韓国人たちに「プライベートな時間が増えたら何をしたいですか？」と聞いた結果です。

日本人は「休息・睡眠」という答えが第1位です。それ以外に、プライベートの時間でやりたいことを具体的に挙げた人はそれほど多くありません。

一方で日本よりも睡眠時間が長く、労働時間も短いドイツの人たちの第1位も「休息・睡眠」でした。ドイツでは日本より年間33日間も多く休んでいるにもかかわらず、まだ

まだ休みたい、もっと眠りたいと思っていることになります。これをどう解釈するべきかは難しい問題です。

それより私が注目してほしいのは、韓国の人たちに「プライベートの時間が増えたら何をしたいですか」と聞いた答えの第1位が「運動・スポーツ」であり、ほかにも「友人・恋人などと過ごす」「家族と過ごす」などが上位に入っていることです。韓国は世界的に見ても睡眠時間が短く、労働時間も長いのに、自由時間があれば体を動かし、親しい人と一緒にいたいというのです。おそらく韓国人は、運動やスポーツをしたり、家族や友人や恋人と過ごすしたりすること自体が休養になると考えているのではないのでしょうか。さらにドイツ人は「休息・睡眠」という回答が1位ですが、2位には「友人・恋人などと過ごす」という答えがランクインします。やはり、親しい人と過ごすことが休養になると考えているのです。

(中略)

先ほどの日・韓・独調査でも明らかになったように、日本では「休養とは何もしないこと」とか、単に「寝ること」だと捉えられてきました。

誰でも休むことは簡単にできるし、特別な技術や知識が必要ではない——こういった考え方が浸透していることが、休養が学問として確立してこなかった理由であり、国としての対策が進まなかった理由だと思います。

しかし、昭和から令和にかけて働き方は大きく変わりました。昭和が肉体労働の時代だったとすれば、令和は頭脳労働の時代です。

さまざまな仕事が現在のように機械化されていなかった時代は、重いものを運んだり、長い距離を移動したりすることによる肉体的な疲労が中心でした。一日じゅう体を酷使するので、夜、家に帰るころにはべとべとに疲れています。おかげで夜はしっかり眠れます。

そして朝はまた仕事へ……。そんな、自然のリズムにそった生活ができていました。

しかし今はどちらかというと頭を使う作業が中心です。そうすると、仕事が終わってから興奮・緊張状態が長く続いて、日常生活のリズムが狂ってしまいがちです。このリズムの乱れが現代人の疲労の大きな原因となっています。

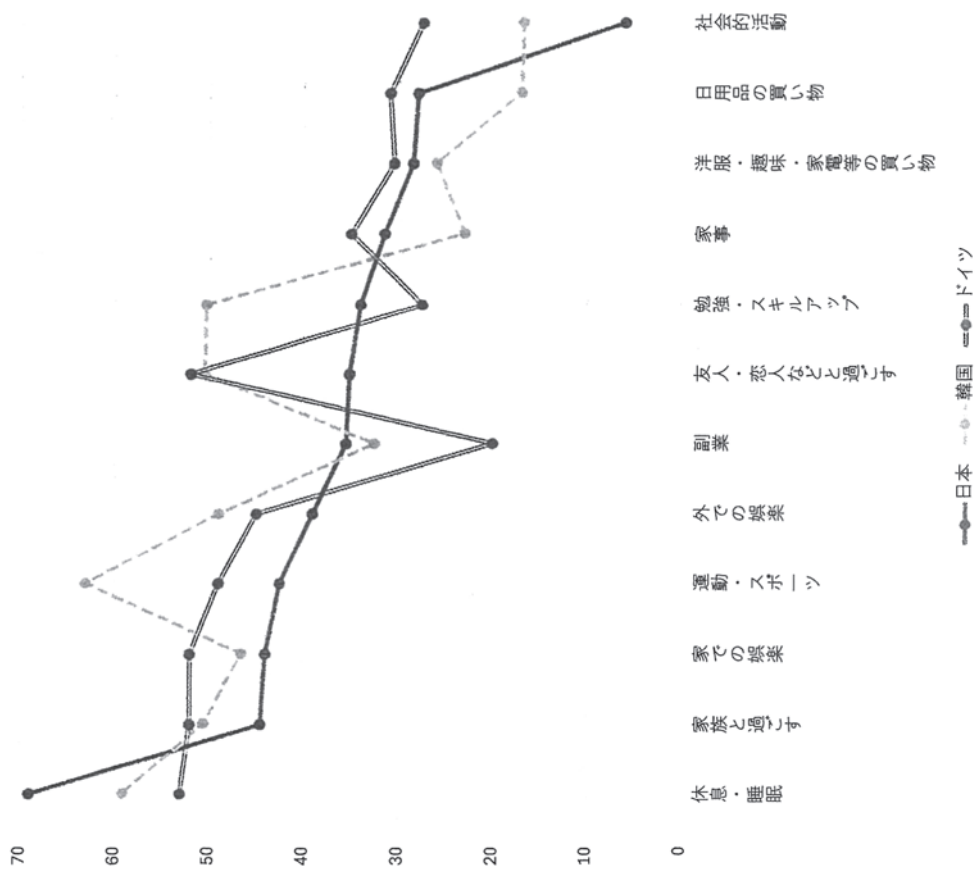
(中略)

座ったままできる仕事が増えて体は楽になった一方で、体はあまり疲れないのに頭だ

けが疲れることで、結果的に肉体にも疲れが残るようになってきているのです。

(片野秀樹『あなたを疲れから救う休養学』東洋経済新報社、二〇二四年による)

図表 1-4 プライベートの時間が増えたら何をしたいか



問一 【課題文 1】を、一五〇字以上、二五〇字以内で要約しなさい。

問二 【課題文 1】・【課題文 2】と【図表 1-4】を踏まえ「プライベートな時間が増えたら何をしたいですか？」の問いに対する、3つの国の特徴について述べなさい。そして、どのような休み方が良いと感じるのか、あなた自身の考えをまとめなさい。【四〇〇字以上五〇〇字以内】

令和八年度 盛岡大学一般選抜 試験問題 国語(文学部)

〔一〕 次の文章は黒井千次の小説『丸の内』の一節である。本文は主人公の男が、新聞で「木枯し一号」が吹いたのを知ったところから始まる。これを読んで、後の設問に答えなさい。なお設問では、主人公の男のことを「男」と表記する。

木枯し一号が吹いた、と新聞で知ったのは十一月二日の夜にはいつてからだ。午前中は日差しが強かったが、コートも羽織らずにホストまで歩いた時、正面から吹きつける風の冷たさに驚いた。昼を過ぎた頃から次第に風は収まり、空は重い雲に覆われて寒い午後が訪れた。

そんな一日だったので、まさかあの風が木枯し一号であつたとは考えてもいなかった。痛苦を予想して身を強ばらせていた太い注射針が、さほどの痛みもなく肌から肉へとはいつた気分だった。これではまだとても木は枯れはしないぞ、と侮るところもあつた。

仕返しに遭つたかの如く、次の日はからりと晴れたが空気は一気に冷え込んだ。弱々しい木枯しが意外にしつかりと深い足跡を残していった感じだった。そこには、冬が来たことを悟らせずにはおかぬ強い意志が現れていた。

もうコートがいらいますよ。

洋服簞笥の前でジャケットを選んでいると妻が忠告した。

お日様は出ているし、帰りは遅くならないからいいだろう。

今日は立派な冬ですよ。風邪を引いたらどうするの。

^(A) 昨日の優男めいた木枯しの本心を代弁するかの口調で妻が言い返した。

まだ十一月にはいったばかりだぞ。厚手のジャケットを着れば大丈夫だ。

カレンダーのことを言っているんじゃないやありません。寒さの話よ。

これならいいだろう。下にワールのオープンシャツを着ていけば。

洋服簞笥の奥から、ツイードのジャケットを取り出して妻に示した。黒っぽく沈んだ杉縹の間から赤く細い格子の微かに浮かぶ柔らかな織りの服だった。

物はいけど、それほど厚手ではありませんよ。

言われてみれば思っていたほど地は厚くなかったが、繊細な毛の感觸と奥行きのある色調が好ましく、ここ数年大切に着てきたジャケットだった。それを手に入れたのが長い勤めを終えた節目の頃であり、紺やブルー系のスーツから解放される記念のつもりで値段への躊躇を押し切つて買ったという事情も裏に絡んでいたのかもしれない。⁽¹⁾ 輸入品のブランドものであることが愛着に一層の拍車をかけた。

急に寒くなったからな。

^(B) ジャケットを弁護するつもりで呟いたが、それを洋服簞笥に戻す気にはなれない。妻はそれきり何も言わなかった。

外出の目的は前から世話になつている都心の眼鏡店へ出かけて検眼を受け、必要なら度の合ったレンズに交換してもらうことに過ぎなかったのだから、とりわけ服装に気を遣う理由などない。むしろレンズ代がいくらかかるかを心配すべきなのに、好天に誘われるようにして、気に入りのジャケットに久々に袖を通す気分ばかりが先走った。

臘脂のオープンシャツの上に着てみると少し袖付けのあたりに窮屈な感じがあつたが妻には洩らさない。脇のポケットに手を入れて防虫剤の小さな空の袋を摘み出した。

前の冬はあまり着なかったから、ランドリーには出さなかったのよね。

思い出した口調で妻が言った。もうコートや服の布地の厚さを問題にするのは諦めた響きが聞き取れた。

なんといつても、久しぶりの外出だった。一時間近くも電車に揺られて都心まで足を伸ばしたのが、この前いつであつたか思い出せない。昨日木枯しが吹いたのだから冬にはいったとみてもいいだろう。新鮮な季節を着込んだ気分が駅の階段を昇る足を軽くした。脇の下にあつた微かな圧迫感もいつか身体に馴染んでほとんど気にならない。朝の冷え込みが嘘のようなブラットホームの日差しの中に立つて上り電車を待つ。分厚い名刺入れも重い手帖もないジャケットを劣るように上から撫でてみる。その手がなげなく両脇のポケットにはいる。防虫剤の空袋を出した右側にはハンカチーフと紫色の百円ライター、左側には小

小さな櫛が指に触れるだけだ。真側に廻った手が煙草の固い箱を確かめ、最後に櫛の横の胸ポケットに差し込まれる。線路の柵越しに抵がる駐輪場にすらりと並んだ自転車のハンドルがイッサイに午後の陽を撥ね返して光っている。以前はその奥に一本の丈高い樹が立っていた。すらりと伸びて程よく拡がった枝先に、春には葉に先だって白い花の盛り上げられたように咲き出すのがプラットホームからも遠目に認められた。おそらく辛夷の花であつたに違いない。葉が茂ったり落葉したりすると自立たないのに、花の季節にだけ存在を主張するかのよう突然背景から浮き上ってくるのが面白かった。駐輪場が拡大したのかバス通りの幅が広がったのか、いつの間にかその樹の姿は消えていた。気がついたのは、だからやはり春だつたのだろう。

樹のあつた辺りの青い空をぼんやり眺めながら胸ポケットを探っていた指先に何かが触った。指の長さぎりぎりの底に控えめな紙片の感触があつた。なぜかそのポケットが意外に深かつたことを思い出した。買物や診察券のカードなどつつかり入れると底に潜つてしまい、上から搜しても容易にわからず慌てた記憶が蘇つた。

オレンジ色の車体を揺らしプラットホームに滑り込んで来る電車に急かされるようにして、爪の先にひつかかる紙片を掴み出した。店先で渡されるレジのレシートに似た小さな紙切れだつた。掌にそれを包んだまま午後の空いた電車に乗り込んだ。隅のシートに腰を落ち着けて車内を見廻した。学校帰りの小学生の団が、半ズボンの制服姿でなにやら唱えながら素早く手を動かす遊びに興じている。向いのシートに坐つた若い女と男が、夫々手の中で携帯電話を忙しく操っている。他人同士らしいのに、妙に似た指先の動作がおかしかった。窓から陽光の差す車内はシートの暖房と相俟つてほとんど暑いほどだ。コートなど着ていたら汗をかくだろう。

背凭れに上体を預け、ウール地の黒いズボンの足をおもむろに組んでから掌の紙片に目を落した。丸めて捨てる前に、それが何であるかを一応確かめてみるほどの軽い気持ちだつた。

二つ折りにされた細長い紙片は、レシートなどより良質のメモ用紙に近かつた。開くと折り目を跨ぐようにしてボールペン書きの字が現れた。四桁の数字が二つ、ハイフンで繋がれている。走り書きというよりしつかりと書き留められた数字の並びが自分の筆跡であるのは間違ひなかつた。電話番号だろうとすぐに察しはついたが、数字の他に文字がないので相手先がわからない。何かの折にメモしたまま忘れて過ぎた番号であるらしい。それでとりわけ不都合が起つた記憶はないのだから、最早不要な数字と考へていだろう。都区内ならどこにでもありそうな局番の四桁数字を眺めながらその紙を二つに折り、四つに重ね、八つに畳み、十六に潰し、固い塊にして掌に弾ませた。

床に捨てるわけにもいかず、それを上着の胸ポケットの中に落そうとした時だつた。ジャケットの表の柔らかな手触りがふと指の動きを押し止めた。番号を書き記したのが、他ならぬこの服を着ていた時であつたろうことに気づいたからだつた。

だからどうということはない。しかし気に入りのジャケットを着用していた以上、どこか今日に似た弾む気分に包まれていた際のメモだつたのではあるまいか――。

何か手懸りはないかと頭の奥を探ろうとするのだが、午後の陽光に溢れた車内の明るさに妨げられて記憶の暗がりまで針先は届かない。思案に暮れてぼんやり眺めていた向いのシートの若い女の顔が急に変わった。瞬も口唇も腫れぼったいドンジユウな顔が、手にした携帯電話の文字板に現れたらしい言葉を覗き込んで光を放った。そこにあるのは笑いだつたが、外に出すのを惜しむように頬をふくらませた表情が少し前とは別人のような生氣に充ちた影を浮かべている。どんな言葉に出会つたのかとあれこれ憶測するうちに、ポケットの中で揉み潰していた小さな紙の塊を取り出し、両手の間で一心に皺をのはしていた。

この番号に電話をかけてみればいいのだ、と思いつくと身体底に目差した。相手が誰かわからぬ以上、多少間の抜けたやり取りになるのは避けられまいが、困つたらすぐ切つてしまえばいい。公衆電話を使えば、かけた側は無名の声だけの通話者に過ぎない。もしも先方が電機器具の安売店や喫茶店やマッサージの治療院などであつたとしても、それが確かめられただけで目的は達せられたことになる。あたりに少しずつ乗客の増してくるシートの上で揺られるにつれ、その思いつきは芽を伸ばし枝を拡げ葉を繁らせて車内で一本の樹木に育っていた。

東京駅で電車を降り、長いエスカレーターを下ると通路の壁際に灰色の公衆電話が幾つかひっそり並んでいた。遊び心と不安と微かな恐れとの入り混つた気分に包まれたまま、紙入れから取り出したテレホンカードを差し込んで皺だらけの紙片の番号を押す。短い間を置いて、呼び出し音が受話器に響いた。

息を殺してその音を五回まで数えた時、もしもし、とくぐもった女の声^②が電話の向うに現れた。静かな場所であるらしく、一切の背景のない声はそれだけ応えて沈黙した。せめて名前を応えてくれないか、との期待は裏切られ硬い沈黙のみを押しつけてくる。しかもすぐ電話を切ろうとする気配が先方^{さきかた}にないことに慌^{あわ}てずにいられない。

もしもし、あのう……。

今どこですか。やつとかける気になったのね。

東京駅で電車を降りたところです。

予想もしない対応に動揺^{どうご}して、とにかく答えられることだけが口に出た。まるでこの電話をかけるために出かけて来たような錯覚に一瞬震^{ふる}われた。

新しい丸ビルが出来たでしょ。そこに出かけるところなの。

人遣い^{ひとづかい}されている、との危惧^{きこん}が身を押し包んだ。聞き覚えのない声だった。

あの、こちらは……。

わかつているわ。これからどうするの。

だから、八重洲口^{やえすぐち}を出て、眼鏡屋^{めがねや}で検眼して――。

ちよつとい。三十分もしないで丸ビルに行けますよ。

丸ビルに行く予定はありませんが。

間違えないでよ。新丸ビルではなくて、旧丸ビルが今度建て直された三十何階かの新しい丸ビルよ。

それが建つたのは知っているけれど、そこに行くつもりは……。

四階だったか、いえ、五階だったかな、東京駅に向いた側に、外に出られるようになったテラスがありますの。少し寒いかもしれないけど気持ちがいいですよ。

何のために、私はそこに行くんですか。

一方的に自分の都合を押しつけて来る相手に反撥^{はんはつ}を覚えて思わず強い口調となった。受話器からすつと声が消えた。初めは黙り込んだのかと思つたが、もしもしと幾度呼びかけても返事がないので、相手が電話を離れてしまったか、と焦った。これで話が絶^たえたのでは何もわからぬ後味の悪さばかりが残ってしまう。先方が電話を切らぬなら、こちららも意地になつて根気比べをするしかない。

友人の葬儀の帰りに渡された包みに小さな塩の袋とともにはいっていたテレホンカードの残り度数が昔もなく変つた。これがゼロになるまで待つのだろうか、と足を踏みかえた時だった。声ではなく風に似た気配が耳を掠^{かす}めた。その中から押しつけがましさの消えた沈んだ声が鼓膜に届いた。トーンの低くなつた分だけ、相手が遠ざかつた感^{かん}じだった。

何のために、電話をなさつたの。

それは、と応じかけて答えに窮した。誰であるかもわからぬ相手に説明のしようがない。

ただの遊び、気紛^{きまぐ}れ……。

^(V) こちらの胸を叩き込んだ声^③が静かに流れた。

そんなことはありません。迷つた末に電話したのだから。

眼鏡屋さんに行く前の暇つぶし……それとも、最後の御挨拶^{ごあいさつ}のつもりだったかしら。

どちらも違う。ただ電話をかけたかっただけだから。

この答えに嘘はない、と縛^{しば}るように考えた。少しでも似た声の憶えはないかとあらためて身体^{からだ}の底を懸命に探り続けるが全く手懸りはない。それでいて、なにか動かしようもなく重^{おも}いものが胸の内に生れてしまっているのは確かだった。

ではお好きになさつたら――。

投げ出す口調でそう言つてから、一息の間を置いて電話は切れた。人の往き来するエスカレーター下の通路にいきなり突き飛ばされて裸で立たされた感^{かん}じだった。重^{おも}そうな車の音をたてて大型のスーツケースを押してくる男がいる。書類袋^{しりょうふくろ}を手にしたとジネスマンぶうの二人が小声で話しながら足速に通^{とほ}り過ぎる。白い毛糸の帽子^{ぼうし}を被^かつた幼い女の子の後を初老の女が小走りに追

う。赤いコートの襟を立てて背筋を伸ばした女がブーツの靴音を残して中央通路の方へ歩み去る。そんな光景が、物置き隅からでも出て来たような場違いな目に眩しく映った。

暫くそこに立ち尽したが、結局は眼鏡屋へ向うより他にない。歩き出す前に時計を確かめた。まだしかと眺めたことのない新しい丸ビルの姿を一目見ておきたい気持ちが動いたが、丸の内側の改札口を出なければその高い建物に触れられないのは明らかだ。諦めて反対方向の八重洲口へと通路を辿った。後を切られた感じで今は時間の方が気にかかった。

用意して来たメンバーズカードを出すまでもなく、幾年かおきに通ううちに顔見知りになった今は初老の店員がシヨウケースの向うから立つてにこやかに出迎えた。初めてここで老眼鏡を作った五十代前半のように度は進まなかったが、検眼の結果、やや調整の必要があることを告げられた。乱視の方に問題があるともつけ加えられ、レンズを作り直すようにすすめられた。

これでもう、終りまで保つかな。

応接の快さによく公衆電話をかけた時の動揺が紛れ、⁽³⁾ 軽口が洩れた。

それは御無理でしょう。どうぞ幾度でもお越し下さいませ。

愛想よく応じた相手は小さな計算機のボタンを叩いてレンズ代を知らせ、クレジットカードの前払いの伝票にサインする間黙って待った。

良いジャケットをお召しですね。

顔を上げると、笑いを浮かべた相手が自分の服の襟を両手で引張ってみせてから伝票を受け取った。

そうかしら。気に入ってはいるんだけど。一張羅だからね。

お似合いですよ。着こなしていらいしやる。

⁽⁴⁾ あなた、眼鏡は大丈夫かな。

フレームレスの品のいい眼鏡をかけた相手の顔を覗き込んでやる。お世辞とわかっていても悪い気分ではなかった。

当店の品に間違いはございません。

折角褒めていただいたから、午後のデートにでも廻ってみるか。

応えながらなにげなく脇のポケットに両手を入れた。紙切れがなかった。右手にはハンカチーフと使い捨てのライターが触れ、左指の先には小型の櫛の歯先が当った。しかし櫛を伸ばして二つ折りにし直した箸の小さな紙片はどのポケットにも探り当てられない。

何かお捜しで。

心配げな表情で相手が訊ねた。

いや、大したものではないから。

首を振って答えながら、電話をかけた際のことを思い出そうと努める。番号のボタンを押した時にあのメモは受話器を握る手に一緒に持っていたのか、それとも電話機の上に拡げて置いたのか。それもはっきりはしないのだが、電話を切られた後の記憶が全く脱け落ちている。通路に突き飛ばされたと感じてからは、まるで両手を失いでもしたかのように手が何をしたかを覚えていない。

店にはいられてからは何も落されたりなさらなかったと思いますが……。

この支払いが一番大事なので、それがすめば後はどうということはありませんよ。

まだ憂い顔の相手に軽くエシヤクして店を出た。足は自然に東京駅へと向っている。歩きながらポケットの中身を一つ一つ掌に取り出して調べてみる。上着からズボンへと下り、尻のポケットまで巡った手が最後にジャケットの胸の深い底まで探ったがやはりみつからない。それなのに、あの時使ったテレホンカードは紙入れの中になに食われぬ顔で納っている。

細い糸のふつんと断ち切られた頼り無さが胸の奥で揺れた。もう一度電話をかけることが有るか無いかの問題ではなかった。その番号の手許から失われたこと自体が、胸のどこかを筆^ひり取られた沁^{しみ}みるような不安を生み出していた。

八重洲口まで来た時、また腕の時計を確かめた。眼鏡屋への往復に既に三十五分が費された。⁽⁵⁾ 東京駅の構内へ踏み込んだ足は、何を考えるゆとりもなく新しい丸ビルのある反対側の丸の内口へと脱ける通路を辿った。電話番号の書かれた紙片をなくし

だからそこに急いでいるのではなかった。もしそれがジャケットのどこかにあったとしても、やはり指示された場所に向ったに違いない。あの紙切れがなくなったのは、ただそこに赴くための最後の仕上げみたいなものに過ぎぬのがわかっていった。何者であるにせよ、指定の場所で誰かに会ってしまえば最早電話番号など不要となることも充分に考えられた。むしろ心配なのは、誰にも会わずに中途半端なままビルのどこかに投げ出されてしまうことの方だった。

問一 傍線部(ア)「侮」、(イ)「イッセー」、(ウ)「潜」、(エ)「下」シエウ」、(オ)「エシヤク」の漢字は平仮名に、片仮名は漢字に改めなさい。解答は〈A 票〉。

問二 傍線部①「思案に暮れて」、②「くぐもった女の声」、③「軽口」という表現の意味として、最も適当なものを、それぞれ①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は〈B 票〉。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| (1) 思案に暮れて | ① かろうじて気持ちを落ち着かせて |
| | ② 疲れてしまつて考えがまとまらずに |
| | ③ これ以上考えても無駄だと思つて |
| | ④ あれこれ考えたが見通しが立たずに |
| | ⑤ 思ひのほか暗い気持ちになつて |
| (2) くぐもった女の声 | ① こもつていてはつきりしない女の声 |
| | ② 小さいながらも妙に耳に残る女の声 |
| | ③ ささやくような耳に心地よい女の声 |
| | ④ 鼻にかかった気だるい感じの女の声 |
| | ⑤ やつと聞きとれるくらいのかすれた女の声 |
| (3) 軽口 | ① その場の状況にふさわしくない言葉 |
| | ② ふと頭に浮かんだ冗談めいた言葉 |
| | ③ 他人の気持ちを和ませようとする言葉 |
| | ④ いつか使おうと用意していた言葉 |
| | ⑤ 相手の発言を軽んじるような言葉 |

問三 傍線部(A)「昨日の優男めいた木枯らしの本心」とあるが、「木枯らしの本心」について、それを具体的に表している部分を本文中から二十字で抜き出なさい(句読点も一字とする)。解答は〈A 票〉。

問四 傍線部(B)「ジャケットを洋服簞笥に戻す気にはなれない」とあるが、この時、「男」がそのジャケットを洋服簞笥に戻す気にはなれなかったのはなぜか。その理由として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は〈B 票〉。

- ① そのジャケットでは、妻が言うように当日の寒さをしのげないことは「男」もわかってはいたが、いまさら厚手の服に選り直したりしていると、予定していた時刻までに目的地に着くことはできないと思ったから。
- ② 妻は、そのジャケットを着たくらいでは寒さはしのげないと言つたが、妻とは異なり、寒くなつたと全く認識していなかった「男」には、そのジャケットを着て外出しても何ら問題はないと思われたから。
- ③ 当日の寒さを理由に、妻からはそのジャケットを着用することに難色を示されたものの、「男」としては、ここ数年気に入りの、そのジャケットを着て久々に外出しようという気持ちに全く変わりはなかったから。
- ④ 寒さをしのぐには、もっと厚手のジャケットを着る必要があるという妻の言葉に「男」は内心では同意していたが、それに素直に従うのは頼みなので、意地でも自分の選んだジャケットを着続けようと思ったから。
- ⑤ 当日の寒さから、そのジャケットを「男」が着ることに妻はいい顔をしなかったが、久々に外出しようとしていた「男」にとって、外出着としては勤め人時代から愛用のそのジャケット以外に考えられなかったから。

問五 傍線部①「それでいて、なにか動かしようもなく重いものが胸の内に生れてしまっているのは確かだった」とあるが、「男」の胸の内に生れてしまっていた「なにか動かしようもなく重いもの」とは何のことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B票)。

- ① 電話による会話が跡絶えると後味の悪さばかりが残ってしまうので、そのような事態に陥るのを避けたいというところから生まれた、女との会話は絶対に続けるのだという固い決意のことである。
- ② 電話口で自分からは名乗らないだけでなく、一方的に自分の都合を押しつけて来る女と話をしているうちに次第に生じはじめた、その女に対する激しい怒りの気持ちと反撥心のことである。
- ③ 電話で親しげに話をしてくる女が誰だかわからず、少しでも似た声の憶えはないかと懸命に探しても全く手懸りが得られないことからくる、自らに対するひどく情けない思いのことである。
- ④ 電話口で押しつけがましく自分の都合を述べ立てるのみならず、「男」の言葉についても疑うような発言を再三繰り返している女に対する、不快と不審の念が入り混じった感情のことである。
- ⑤ 電話で話をしている女の声は全く聞き憶えのないものだったが、言葉を交わしていくうちに次第に生じてきた、相手の女が誰なのか何としても確かめずにはいられないという強い思いのことである。

問六 傍線部①「あなた、眼鏡は大丈夫かな」とあるが、このように言った時の「男」に関する説明として、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B票)。

- ① ジャケットを褒めてはきたが、店員が本当にその価値をわかって褒めたのか疑問だったので、店員の眼鏡の見え方を話題にすることを通して、それを確かめようとしている。
- ② 新調した眼鏡について、一生使い続けるのは無理だと店員は言ったが、改めて本当にそうなのかと問い返すことで、発言の裏にある店員の本音が聞けるのではないかと期待している。
- ③ ジャケットを褒めてきた店員の発言をそのまますくには受け入れず、店員の眼鏡がちゃんと見えているのかとからかうような言葉を返して、会話のやり取りを楽しんでいる。
- ④ レンズの度を調整して新しく作り直した眼鏡が、自分に似合っているのか不安だったことから、その眼鏡について店員に尋ね、専門の立場からの率直な感想を得ようとしている。
- ⑤ 店員からジャケットを褒められて照れくさかったので、その照れを隠すために店員の眼鏡について言及し、さりげなく話題をジャケットから眼鏡の方にそらそうとしている。

問七 傍線部②「東京駅の構内へ踏み込んだ足は、何を考えるゆとりもなく新しい丸ビルのある反対側の丸の内口へと脱ける通路を辿った」とあるが、「男」の足が「何を考えるゆとりもなく丸の内口へと脱ける通路を辿った」のはなぜか。その理由として、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B票)。

- ① 「男」は眼鏡屋で用事をすませた後、すぐにでも再び電話をかけて女と話をするつもりでいたが、その番号が書かれた紙をなくしてしまった今、話をするにはこの機会に直接会う以外、手段がないと思ったから。
- ② 電話口で三十分後に丸ビルで会おうと言った女に対し、眼鏡屋で用事をすませるまでに三十五分費やしてしまった「男」は既に遅刻していることになるので、さらに遅れると女の怒りを買いかねなかったから。
- ③ 女との約束の時間までに何とか丸ビルに着こうと焦る気持ちと、電話番号を書いた紙が見当たらないことからくる動揺とが合わさって、女と会うのを前にして、「男」が冷静さを保てなくなっていたから。
- ④ 女は電話で今から三十分前から丸ビルへ行けると言っていたが、「男」は東京駅の八重洲口から眼鏡屋への往復で既に三十五分かかっており、これ以上時間がかかると丸ビルで女に会えなくなる恐れがあったから。
- ⑤ 「男」が女に一度電話をした後、二度と連絡ができなくなつたのは、番号を書いた紙をうっかりどこかにやっってしまったことによるので、その自らの迂闊さを悔やみ気持ちで頭がいっぱいになっていたから。

問八 波線部①～⑤の表現に関する説明として、適当でないものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B)要。

- ① 波線部①「輸入品のブランドものであることが愛着に『層の拍車をかけもした』」という表現は、ジャケットが輸入品のブランドものであることによって、「男」の中でそのジャケットを大切に思う気持ちがより強くなったことを述べるものである。
- ② 波線部②「窓から陽光の差す車内はシートの暖房と相俟ってほとんど暑いほどだ」は、電車の窓から差しこんでくる太陽光の熱と、シートの暖房の熱が合わさって、車内が暑いと感じられるくらいになっていることを表す表現である。
- ③ 波線部③「その紙を二つに折り、四つに重ね、八つに畳み、十六に潰し、固い塊にして掌に弾ませた」という表現から、この時点において「男」が電話番号を書いた紙を捨ててしまうつもりであったことが推察される。
- ④ 波線部④「身体の下に日が差した」とは、メモにあった電話番号がいつ書かれたものなのかわからず困っていたところ、それを確かめるよい方法があることに思い至り、得意になっている「男」の気持ちを象徴的に表す表現である。
- ⑤ 波線部⑤「こちらの奥を覗き込んだ声」とは、その前で女が「ただの遊び、気紛れ……」と言ったことが、「男」が女に電話を掛けた動機として、あながち的外れではなかったということを示唆する表現である。

〔二〕 〔二〕には(甲)・(乙)の問題がある。(甲)・(乙)いずれかを選択し、解答しなさい。

(甲) 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

さて、ケアという行為について、ある意味でもことも本質的なことでありながら、しばしば見落とされやすい基本的な点をここでまず確認してみたい。それは、ケアという行為を通して、ケアをおこなっている(あるいは「提供」している)人自身が、むしろ力を与えられたり、ある充足感^(イ)やトウゴウ感を得る、ということがしばしば起こる、という点である。通常、ケアという営みは、「ある人が別の人をケアする」というくあいに、いわば「与える―与えられる」といった関係にとらえられがちである。けれどもこれはある意味で非常に表層的な見方ではないだろうか。

というのも、ここで人間がもつ「ケアへの欲求」ということを考えてみれば、いま述べていることははつきりする。人間は、それがどのような形をとるかはさまざまであるにしても、いわば本来的に(だれかを)「ケアしたい欲求」とでもいうものをもっているように思われる(もちろん同時に「ケアされたい」欲求というものももっている)。先にケアということばが本来「気遣い、配慮、世話」といった広い意味をもつものであることを述べたが、それはすなわち他者とのかわりということであり、すぐ後でも考えていくように、それは人間が普遍的にもっているひとつの性向である。

したがって、ケアという行為を、いわば「だれかのために」してあげる「行為」といったものとしてとらえるとしたら、それは先にも述べたとおり非常に表面的な理解になってしまうだろうし、またケアという営みのもつ興行きを見失ってしまうことにもなる。人間はケアへの欲求というものをもっており、また、他者とのケアのかかわりを通して、ケアする人自身がある力を得たり、自分という存在の確認をしたりする。このことは、「ケア」ということを考えていくうえで、出発点として確認しておくべきことと思われる。

この点は、逆にいえば、ケアという行為は、一歩まちがえたとある意味で独善的なものになってしまう可能性を常にはらんでいる、ということでもある。人は、案外「他人のために」と言いながら、実は「自分(の存在の確認)のために」行動している、ということがあるかもしれない。だれかの「ために」役立つことを何かしたい、ということが、自分自身の存在理由を確認できる何かを求めている、という動機による部分がある場合があるかもしれないし、もちろんそれがただちに「よくない」ということでもない。しかしそれが独善的なものとなるのを避ける意味でも、ケアを「与える―与えられる」といった一方向的な関係としてとらえるのではなく、むしろ人間という存在が「ケア」への欲求をもっており、それが実現する場としてさまざまなかかわりのかたちがある、と考えるべきではないだろうか。

ところで、ではいま述べている「ケアへの欲求」というものは、どのようなことに根拠をもつものなのだろうか。この点を少し考えてみよう。

端的にいえば、それは人間という生き物が際立つて「社会性」の強い生き物である、ということと表裏の関係にあるものである。そして、以下に述べるような意味で、人間とは「ケアする動物」である、という理解が可能と考えられるのである。

一般に動物の場合、原始的なものを含めて、身体をそなえた「個体」というものが行動の単位となっている。ただし、この場合の個体とは、個体そのものが独自の主体であるというよりは、むしろ「遺伝子」の道真という性格が強い。つまり、イギリスの動物行動学者トーキンスがその世界的ベストセラーとなった著作^(イ)『リソ的な遺伝子』で展開したように、基本的に存在するのは自己複製しながら自分のコピーを後代にまで残そうとする「遺伝子」であり、生物の進化のある段階までは、「個体」はその遺伝子のための乗り物 vehicle に過ぎない。このことは、たとえば自らの身体をばらばらにして河流をさかのぼり、産卵を終えたとたんにその「個体」自らは死んでいく鮭の例を考えてみれば明らかなことである。そこでは個体は遺伝子的手段ないし乗り物に過ぎない、ということがまさにあてはまる。

このことは、別の観点から見ると次のことを意味している。それは、そうした動物の場合には、世代間の、つまり親から子への情報伝達というものは、もっぱら「遺伝子」を通してなされるものであり、親から子への直接の(つまり個体間の)コミュニケーションというものは存在しない、ということである。たとえばある魚の種が親とまったく同じ行動をとるのは(セグメントする

と大洋に出て一定のルートを泳いで回り、産卵のときにまたもその川に戻ってくる、等々)、決して親から直接「教わった」ものではなく、そうした行動そのものが(親から受け継いだ)遺伝子にプログラムとして書き込まれているからである。親から子への情報伝達はまさに「遺伝子情報」のバトンタッチを通してなされるのである。

ところが、一定以上の複雑な、あるいは高等な動物になってくると、それだけではすまなくなる。いうならば、(親から子へと伝えるべき情報が多すぎて、遺伝子だけでは「容量」が足りなくなるのである。そこで、むしろ「脳」という装置を発達させ、つまり外界を認知したり記憶したりするメカニズムを発達させ(これが「意識」の発生ということにはかならない)、そのことを通じて、「個体」と「個体」が直接にコミュニケーションをおこなう、ということがおこなわれるようになる。これがまさに「社会性」の発達ということである。

いうまでもなく、このことがまず大きく発達したのがホニエウ類であり——「哺乳」つまり親が子を「ケア」し育てる、という名称自体にその本質がよく示されている——、そしてこれらの要素、つまり脳の発達、「意識」の発生、個体間コミュニケーションすなわち社会性の発達が、ほとんど質的なヒヤクがあるほどまでに高度に進化したのがまさに人間という生き物、ということになる(ちなみに、「遺伝子情報から脳情報へ」といういま述べた発想は、日本でもよく知られた宇宙学者カール・セーガンが、ヒュリツツァー賞を受賞した初期の著作『エデンの恐竜』で展開した議論である。本書のテーマからは逸脱するが、現代の社会においては、そうした「脳情報」すら「容量」が足りなくなり、人間はさらに脳を「外部化」させたコンピューターという存在をつくった、というのが、セーガンが展開したストーリーであつた。

たとえば猫が、自分のなわばりを示すためにさまざまなマーキングの行動をしたり、しきりに毛づくろいをしたりするのは、べつに「親から教えられた」ものではなく、遺伝子情報そのものに書き込まれた行動であつて、実際、生まれてすぐ親から引き離された猫であっても同じ行動をする。ところが人間の場合は、その行動の大部分はそうした遺伝子情報のプログラムによるものではなく、親や他の個体とのかわり、つまり「ケア」の關係を通して学習され、形成されるものである。

以上の記述で明らかであろう。人間は、その(一人ひとりの)意識や行動、そして感情そのものを含めて、個体と個体の間のコミュニケーションを中心とする強い社会性のなかではじめて「人間」となる生き物である。それはまさに「ケア」の關係ということであり、こうした意味で、人間は文字どおり「ケアする動物」である。⁽⁸⁾人間が先に述べたような「ケアへの欲求」をもっているということは、こうした生物学的な事実によって来るものということが出来る。

このことは、逆にいえば、次のようなことも意味することになる。よく、「けつぎよく人間は、個として生まれ個として死んでいく存在である」とか、あるいは「どんなに深く理解できたと思つても、個人と個人とは最終的にはわかりあえない」といった言い方がなされることがある。これらは、確かに一面の真理ではあるかもしれない。しかし、そのように考える「意識」の成り立ちや内容そのもの——つまり意識が個体間の緊密なコミュニケーションのなかで形成されるという事実や、「私」や「死」についての意識そのもの——を含めて、上に述べたように人間はとことん社会的な生き物、「ケアする動物」なのである。その意味では、人間はどんなにしても徹底した意味で「ひとり」であることはありえない存在、といえるかもしれない。

⁽⁹⁾ いうならば、人間は「社会的な脳」をもった生き物である。コンピューターにたとえると、脳の「ハード」面はさしあたり個体の中に完結したものであるとしても、その「ソフト」(意識そのもの)は完全に社会的な産物——ケアの關係をとおしてつくられるもの——なのである。

なお、以上の記述に示されているように、個体間のコミュニケーションのなかで「親と子」のあいだのコミュニケーションというものが際立つて大きな意味をもっていることはいうまでもない。それは起源的には、生物にとつてもつとも本質的な世代間の情報伝達、つまり遺伝子のバトンタッチを通じた生命の連続性の中心をなすものでもあつた。親子關係は人間にとつての(またはホニエウ類にとつての)いわば「ケア關係の原型」である。しかし同時に、親子關係つまり(生物学的な)血縁關係が決定的な意味を「もたない」ことにこそ、つまり他のさまざまな社会的關係がそれと同等の大きな意味をもつという点にこそ、他の生物と異なる人間固有の独自性があるということも忘れてはならないだろう。

ケアということの意味について考えてきたが、以上は「そもそもケアという行為は人間という生き物にとつてどういう意味をもつものなのか」という問いに関する、いわば基本論であつた。しかし現代の社会においては、ケアは医療、福祉、教育、心理

などといった分野において独立した「職業」ともなっており、また、さまざまな「制度」——たとえばさまざまな資格や、医療保険、介護保険といった制度——をともなうものとなっている。^①こうした、より具体的な場面でのケアとこのことの意味を明らかにするには、また別の視点が必要になってくる。

ここで重要となってくるのが「外部化」というコンセプトである。^②以下、この「外部化」という観点から現代社会におけるケアの意味に光をあててみよう。

端的に言えば、現代におけるケアとこのことの大部分は、もともと家族や共同体の内部でおこなわれていたものが「外部化」されたものである、ということが出来る。このことは、まず介護ということを考えてみれば理解しやすいと思われる。高齢者に対する介護はこれまでもっぱら家族のなかで、家族の者によっておこなわれていた。高齢化の進展や、家族構成の変化のなかで、そうした介護の負担があまりにも重いものとなり、そこでそうした介護を家族以外のホームヘルパーや介護福祉士などがおこなうという方向が出されるようになり、またそれを支える財政的な制度として介護保険というものもつくられた。まさに介護というケアが「外部化」されようとしているのである。

現代風のことを使うならば、企業が、それまでその組織の内部でその企業の職員によっておこなっていた業務を、その業務を専門的にこなす別の企業に発注し、それによって仕事の効率や質を高めることを「アウトソーシング」という。まさに介護というケアは家族からその外部へとアウトソーシングされつつあることになる。

しかし考えてみるとこれは介護に限ったことではない。たとえば古い社会では、「教育」というものも、学校という公的な制度もなく、それは家族や地域共同体の中でおこなわれていた。いわゆる近代社会になって、公的な教育制度が整備され、また「教師」という専門職も養成されるようになり、教育という「ケア」は「外部化」されていったのである。また、最近では、「子育て」ということについても、女性の社会進出等のなかですべてを家庭内でおこなうことは困難となり、(日本の場合かなり遅れてではあるが)しだいに保育所などのサービスも整備されはじめている。子育てという「ケア」の「外部化」である。

一方、医療について見ると、たしかに医師という職業は比較的古くから存在しており、その意味では医療というケアは早い段階から「外部化」されていた、という面をもっているが、とはいえ近代社会以前はもちろん現在のような意味での医師は存在せず、またかりに存在するにしてもその数はごく限られたものであったから、医療というケアもまた、大部分は家族や共同体のなかで^③インフォーマルなかたちでおこなわれていたのである。

(広井良典『ケア学——越境するケアへ』による)

問一 傍線部(イ)「トウゴウ」、(ロ)「リコ」、(ハ)「セーシエク」、(ニ)「ヒヤク」の片仮名を漢字に改めなさい。解答は(4票)。

問二 傍線部①「メカニズム」、②「コンセプト」、③「インフォーマルな」という表現の意味として、最も適当なものを、それぞれ①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(8票)。

- | | |
|--------------|---|
| (1) メカニズム | ① 遺伝子の構造
② 複雑な経路
③ 内部の仕組み
④ 細胞の働き
⑤ 脳の大きさ |
| (2) コンセプト | ① これまでにはなかったまったく新しい見解
② 別の分野でも用いられる既成の見方
③ 科学的な根拠に基づいた意見
④ 具体的な問題を考えるうえで基本となる概念
⑤ 世間で当たり前だとされている考え方 |
| (3) インフォーマルな | ① 可能な範囲ではそばそとした
② 秘密裏に法を逸脱するような
③ 公的に整備された制度としてではない
④ 外部にはけっして知られないような
⑤ 多くの人々が手を貸して協力する |

問三 傍線部(A)「これはある意味で非常に表層的な見方ではないだろうか」とあるが、なぜそう言えるのか。その理由を説明した次の文の空欄に当てはまる表現を、本文中から四十八字で抜き出ささい(句読点も一字とする)。解答は(4票)。

人間は ことがあるから。

問四 傍線部(B)「人間が先に述べたような「ケアへの欲求」をもっているということは、こうした生物学的な事実に由来するものといえることができる」とあるが、「生物学的な事実」とはどういう事実か。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(8票)。

- ① 人間は親と子との結びつきが他のホニエウ類よりも強いため、親から子への情報伝達は、そのすべてを個体間の直接的なコミュニケーションを通して行ってきたという事実。
- ② ある一定以上の複雑で、高等な動物になってくると、遺伝子による情報伝達だけでは不十分になるため、人間の場合は言語を獲得し、言語によるコミュニケーションを行うようになったという事実。
- ③ 基本的に生物の個体は自己複製を繰り返しながら、自分のコピーを後代まで残そうとする遺伝子の乗り物に過ぎないが、その遺伝子を通じて様々な情報伝達が行われてきたという事実。
- ④ 人間は社会性が強く、個体間のコミュニケーションを発達させてきた生き物であり、情報伝達の大部分を遺伝子によるのではなく、個体同士のかかわりを通して行ってきたという事実。
- ⑤ 人間は脳を発達させることによって、外界を認知したり、様々な情報を記憶したりすることができるようになったため、遺伝子による情報伝達という手段を必要としなくなったという事実。

問五 傍線部④「いうならば、人間は『社会的な脳』をもった生き物である」とあるが、筆者はなぜ人間の脳を『社会的な脳』と考えるのか。その理由として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は〈B 票〉。

- ① 人間の「脳」の「ソフト」面である「意識」は、個体間の緊密なコミュニケーションという、社会的な関係性のなかで形成されるものだから。
- ② 人間は、「脳」に「意識」があることで外界や他者の存在を認識することが出来るため、「意識」を持った結果として、社会的な関係性が維持されるから。
- ③ 人間の「脳」の「ハード」面は個体の中に完結しているとしても、その「脳」を持つ個体それ自体は社会的な関係性のなかで生きていくほかないから。
- ④ 人間は、「脳」の「ソフト」面である「意識」を社会的な関係性のなかで形成し、さらに、その「意識」を他者の「意識」とつなげることで、より緊密なコミュニケーションを行うから。
- ⑤ 人間の「脳」は、社会的な関係性のなかでも、もともと起源的で、本質的な「親と子」のあいだのコミュニケーションのなかで発達していくから。

問六 傍線部①「こうした、より具体的な場面でのケアということの意味を明らかにするには、まだ別の視点が必要になってくる」とあるが、筆者はここまでの議論を踏まえて、この後の議論をどのように展開しようとしているのか。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は〈B 票〉。

- ① ここまではケアという行為が、どのようにして生まれ、発展してきたのかを、生物や人間の進化を探ることで検討してきたが、これ以降はケアについて「外部化」という観点から、具体的に事例をあげながら議論を展開しているとしている。
- ② ここまではケアという行為が、人間にとってどのような意味を持つのかということと、歴史上の様々な事例を参照しながら検討してきたが、ここからは現在におけるケアの問題点について、「外部化」という観点を導入することで議論を展開しているとしている。
- ③ ここまではケアという行為の持つ性質と、それが人間という生き物のどういう点に由来し、人間にとってどのような意味を持つのかを検討してきたが、ここからは現代社会における具体的な場面でのケアについて、「外部化」という観点から議論を展開しているとしている。
- ④ ここまではケアという行為の社会的な意義を検討するために、生物や人間の進化の過程をたどってきたが、これ以降は、現代社会におけるケアが果たす役割について、具体的なケアの場면을例示しながら議論を展開しているとしている。
- ⑤ ここまではケアという行為の本質的な意味を考えるために、生物や人間の進化の歴史にまで立ち返って検討してきたが、ここからはケアが共同体のなかで、どのように行われ、どのように発展してきたのかについて「外部化」という観点から議論を展開しているとしている。

問七 本文中の筆者の考えに合致しているものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は〈B 票〉。

- ① 人間は「ケアへの欲求」というものを持っており、その欲求に従ってケアをし、ケアをすることで自分が誰かの役に立っているという充足感を得ている。
- ② あらゆる動物は身体をそなえた個体が行動の単位となっているが、その個体は個体そのものが独自の主体として行動しているのではなく、遺伝子に書き込まれたプログラムに基づいて行動している。
- ③ 人間はどんなに深く互いを理解し合っていると思っけていても、最終的にはわかりあえないものである。従って、人間はどんなにしても徹底した意味で、「ひとり」でしかありえない存在なのである。
- ④ ケアという行為はもともと家族や地域共同体のなかで行われてきたものだが、核家族化が進んだことで地域共同体が崩壊したため、ケアにも専門職が求められるようになったのである。
- ⑤ 現代社会では、ケアという行為においても「外部化」が求められている。そのため介護の分野でも積極的に「アウトソーシング」が進められるべきである。

- (乙) 次の文章は、『枕草子』の一節である。本文は、有名な歌人・清原元輔の娘である筆者が、主人の「宮」(中宮定子)に対して、「歌を詠むつもりはありません」と語る場面から始まる。これを読んで、後の設問に答えなさい。

「何か。この歌よみはべらうことなむ思ひはべるを。物のをりなど、人のよみはべらむにも、『よめ』など仰せられは、⁽¹⁾え候ふまじき心地なむしはべる。^(A)いといかは、文字の数知らず、春は冬の歌、秋は梅、^(注1)花の歌などをよむやうははべらむ。なれど、歌よむと言はれし未々^(注2)は、すこし人よりまさりて、『そのをりの歌は、これこそありけれ。おは言へど、それが子なれば』など言はれはこそ、かひある心地もしはべらめ。つゆとりわきたる方^{かた}もなく、おすがに歌がましう、われはと思へるおまに、最初^{さいし}によみ出でべらむ、亡き人のためにもいとほしうはべる」⁽²⁾とまめやかに啓すれば、笑はせたまりて、「さらば、ただ心にまかせ。われらはよめとも言はじ」とおたまはすれば、「いと心やすくなりはべりぬ。今は歌のこと思ひかけし」など言ひてあるころ、^(注3)庚申^{かうしん}ぞおせたまふて、^(注4)内の大臣殿^{うちのおうじん}、いみじう心まつけせさせたまへり。

夜つちふくるほどに、題^{だい}出だして、女屋も歌よませたまふ。みなけしきはみゆるかし出たすも、宮の御前近く候ひて、物啓しなれど⁽³⁾ことごとくをのみ言ふを、おとこ御覧して、「なご歌はよめでむげに離れるたる。題取れ」とおたまふを、「おることつきたまはりて、^(B)歌よみはべるまじうなりてはべねば、思ひかけはべらず」と申す。「ことやうなる事。まことにおる事やははべる。なごかさはゆるおせたまふ。いとあるまじき事なり。よし、こと時は知らず、⁽⁴⁾今宵はよめ」など責めおせたまへど、け^け清う聞きお入れで候ふに、皆人々よみ出だして、よしあしなど定めらるるほどに、^(D)いささかなる御文^{ごぶん}を書きて、投げ給はせたり。見れば、

元輔^{のち}が後といはる君しちや今宵の歌にはづれてはさる

とあるを見るに、をかしき事をたくひなきや。いみじう笑へば、「何事ぞ何事ぞ」と、おとこも問ひたまふ。

「その人の後といはれぬ身なりせば今宵の歌をまつたよままし

つつれ事さらばすは、千の歌なりと、これよりなむ出でまづて来まし」と啓しつ。

(注1) 花 桜の花。

(注2) 未々 子孫。

(注3) 庚申 「庚申待た」のこと。干支の「庚申」に当たる日の夜に行われる行事。皆で集まって歓談し、歌合や碁、双六などの遊びをして夜を明かす。

(注4) 内の大臣殿 定子の兄である藤原伊周のこと。後に出る「おとこ」も同一人物。

(注5) 題 歌を詠むために用意されたお題。

問一 傍線部①「え候ふまじき心地なむしはぐる」、②「まめやかに啓すれば」、③「ことごとくをのみ言ふ」の口語訳として、最も適当なものを、それぞれ①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B要)。

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| (1) え候ふまじき心地なむしはぐる | ① これ以上ここにいてはいけないうつさうな感じがします |
| | ② ひとに仕打ちには到底耐えられるはずがないという感じがします |
| | ③ とても恐れ多くもつたにないことであるという感じがします |
| | ④ そのような命令には決して従えないという感じがします |
| | ⑤ お側にお仕えすることができそうにないという感じがします |
| (2) まめやかに啓すれば | ① 真面目に申し上げたので |
| | ② 心配そうにおっしゃったので |
| | ③ 丁寧に申し上げたので |
| | ④ 真剣におっしゃったので |
| | ⑤ 動揺して申し上げたので |
| (3) ことごとくをのみ言ふ | ① 批評ばかりを言う |
| | ② 仰々しいことだけを話す |
| | ③ 別の話題ばかりを話す |
| | ④ 自分のことだけを言う |
| | ⑤ 小言ばかりを言う |

問二 傍線部(A)「いといかがは、文字の数知らず、春は冬の歌、秋は梅、花の歌などをよむやうはべらむ」とあるが、筆者はこの発言を通して、どのようなことを言いたいのか。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B要)。

- ① 歌の文字数は知らないが、春に冬の歌を、秋には梅や桜の花の歌を詠むものだという歌の常識は知っているので、季節の歌なら詠めるということ。
- ② どうして歌は、文字数が決まっていたり、春に冬の歌を、秋には梅や桜の花の歌を詠むことが常識だとされていたりするのか、不思議だということ。
- ③ 歌の文字数も知らないし、春に冬の歌を、秋には梅や桜の花の歌を詠みたいと思ってしまう常識はずれの自分には、人前で歌は詠めそうもないということ。
- ④ 歌の文字数や、春に冬の歌、秋に梅や桜の花の歌を詠んではいけないという歌の常識は知っているので、歌自体は詠めないわけではないということ。
- ⑤ 歌の文字数や、春に冬の歌を、秋には梅や桜の花の歌を詠んではいけないという歌の常識を知らない人でも、歌を作れる方法があるなら教えてほしいということ。

問三 傍線部④「歌よまはべるまじうなりてはべれば、思ひかけはべらず」とあるが、筆者がそのような発言をするに至るそもそものきっかけとなったのは、どのような出来事か。その説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選ぶなさい。解答は(B票)。

- ① 筆者が最初に歌を詠むと、亡くなった父親に対して気の毒だと言われたこと。
- ② 定子が筆者に対して、歌を詠めとは命じないようにすると言ってくれたこと。
- ③ この庚申待ちの催しの準備を整えたのは、伊周だったということ。
- ④ 夜更けになってから、女房たち全員に、歌のお題が出されたこと。
- ⑤ 伊周が、歌を詠まずに離れたところにいた筆者をとがめたこと。

問四 傍線部③「責めさせたまへど」を、例にならって単語に分けなさい。解答は(A票)。

(例) いみじうあはれにをかしけれ

↓

いみじう—あはれに—をかしけれ

問五 傍線部①「いささかなる御文を書きて、投げ給はせたり」とあるが、これは誰の行動について述べたものか。該当する人物を本文中から抜き出さなさい。解答は(A票)。

問六 筆者に関する説明として、最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。解答は(B票)。

- ① 筆者は、有名な歌人の娘である自分が得意げに歌を詠んでみせるのはみっともないという理由で、人前で歌を詠むことを拒否した結果、庚申待ちの催しで仲間外れにされてしまった。
- ② 筆者は、有名な歌人の娘であるからには、他人に褒められるような歌を詠まなければならないという重圧を感じており、庚申待ちの催しで伊周に歌を詠めと命じられても、頑なに拒否し続けた。
- ③ 筆者は、人前では決して歌を詠みたくないという希望を持っており、主人である定子にも了承を得ていたが、庚申待ちの催しを主催する伊周に責め立てられ、嫌々ながら歌を詠まされてしまった。
- ④ 筆者は、有名な歌人である父の歌とつい比べてしまって、自分の歌に自信が持てずにいたが、伊周に歌千首を作るよう命じられた女房たちのために歌を詠み、苦しんでいる仲間の手助けをした。
- ⑤ 筆者は、父から苦言を呈されるほど歌が下手で、恥ずかしくて人前では歌を詠めないと考えていたが、庚申待ちの夜にいきなり歌を詠みかけられた際には、とっさにすぐれた返歌を詠むことができた。

問七 『枕草子』の作者名を漢字で書きなさい。解答は(A票)。

化学基礎

問題を解くのに必要があれば次の値を使うこと。

原子量：H：1.00，C：12.0，O：16.0，Mg：24.3，Cl：35.5

0℃， 1.013×10^5 Pa における気体の体積：22.4 L/mol

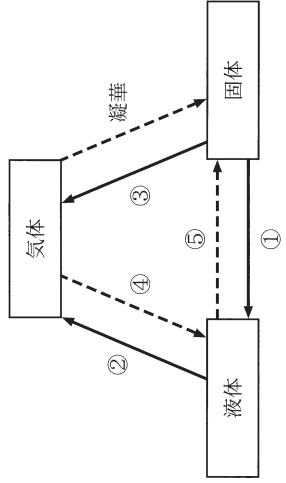
〔I〕 次の問1～2に答えよ。

問1 次の物質①～⑩について，(1)～(7)に答えよ。

① 水蒸気	② 海水	③ 水酸化ナトリウム
④ 塩酸	⑤ オゾン	⑥ ドライアイス
⑦ 鉄	⑧ 酸素	⑨ ヨウ素
		⑩ 空気

- (1) 上記⑩のように2種類以上の物質が混ざっている物質を何と回答しよう。
- (2) 上記⑩が乾燥状態の場合，最も多く含まれる気体の名称を答えよ。
- (3) 上記①～⑩の中から純物質をすべて選び，番号で答えよ。
- (4) (3)で純物質に分類されたものの中から化合物を選び，番号で答えよ。
- (5) 同じ元素の単体で，性質が異なる物質を互いに何と回答しよう。
- (6) (3)で純物質に分類されたものの中から，単体であり，さらに(5)の関係にある組み合わせを選び，番号で答えよ。
- (7) (6)で選んだ物質以外にも，(5)の関係をもつ元素が3種類ある。その元素記号を3つ答えよ。

問2 図は，物質の状態が温度や圧力の変化に伴い，固体・液体・気体の間の変化する様子を示したものである。(1)～(5)に答えよ。



- (1) 図のような固体・液体・気体の間の変化を何と回答しよう。
- (2) 図中の①～⑤の変化をそれぞれ何と回答しようか下記のa～eから選び，記号で答えよ。

a	凝固	b	凝縮	c	昇華	d	蒸発	e	融解
---	----	---	----	---	----	---	----	---	----

- (3) 図中①が起こる温度を何と回答しよう。
- (4) 図中⑤が起こる温度を何と回答しよう。
- (5) 身のまわりで見られる現象ア～オは，図中①～⑤のうちのどの変化に当てはまるか番号で答えよ。

- ア) ドライアイスが小さくなる。
- イ) コップの水が減っていく。
- ウ) 雪が融ける。
- エ) ガラスのコップに冷たい水を入れたら表面に水滴がついた。
- オ) 冬の朝，水たまりの表面に氷が張った。

〔Ⅱ〕 金属の酸化還元反応に関する問題である。問Ⅰ～Ⅲに答えよ。

問Ⅰ 金属のイオン化傾向に関する問題である。(1)～(3)に答えよ。

表 金属のイオン化列

Li	①	Ca	②	Mg	Al	Zn	③	Ni	④	Pb (H ₂)	Cu	⑤	Ag	⑥	Au
----	---	----	---	----	----	----	---	----	---	----------------------	----	---	----	---	----

(1) 表の①～⑥に適した元素記号を下記から選び、金属のイオン化列を完成させよ。

Pt	Na	Sn	Fe	K	Hg
----	----	----	----	---	----

(2) 白金・アルミニウム・ニッケルをイオン化傾向の大きい順に元素記号で並べよ。

(3) 硫酸銅(Ⅱ)水溶液に鉄の針金を入れたところ針金のまわりに結晶が析出した。この析出した物質は何か答えよ。さらに、このイオン反応式を完成させよ。

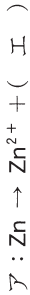


問Ⅱ 電池のしくみについて説明した文章である。(1)～(4)に答えよ。

容器の中央を素焼き板で仕切り、片方には硫酸亜鉛 ZnSO_4 水溶液を入れ、亜鉛板 Zn を浸し、もう片方には硫酸銅(Ⅱ) CuSO_4 水溶液を入れ銅板 Cu を浸した。さらに亜鉛板と銅板の上部を導線でつなぎ、その導線の中央付近に豆電球を取り付けたところ明かりがたった。

(1) この電池は考案した人物の名前で呼ばれている。何電池というか答えよ。

(2) ア・イの反応式の(エ)に電子を係数とあわせて記載し、さらにウの全体の反応式を完成させよ。



(3) ②の反応式ア・イについて、どちらが正極あるいは負極、酸化あるいは還元かをアまたはイで答えよ。

(4) この電池における電子の流れる方向を、文章中の下線部から適した名称を用いて答えよ。

問 3 鉄の製錬に関する内容である。次の文章を読み(1)と(2)に答えよ。

溶鉱炉に(ア)石とコークス C、(イ)石 CaCO_3 を入れ、熱風を吹き込むと $2000\text{ }^\circ\text{C}$ 近くの高温となり一酸化炭素が生じる。この一酸化炭素によって鉄の酸化物が還元される。得られた鉄は(ウ)と呼ばれ、炭素を約 4 % 含み硬くてもろい。この(ウ)を転炉に入れて炭素を吹き込むことで炭素を 2 ～ 0.02 % に減らしたものを(エ)という。

- (1) 文中の(ア)～(エ)に適した語句を入れ文章を完成させよ。
- (2) 炭素と反応し燃焼することで多量の熱量を発生し、 $2000\text{ }^\circ\text{C}$ 近くの高温を生み出している物質は何であるか。上記の文章から選び出し、名称または化学式で答えよ。

〔Ⅲ〕 次の問 1 ～ 3 に答えよ。

問 1 次の文中の(ウ)～(オ)に適した語句を入れ、文章を完成させよ。

純水は $25\text{ }^\circ\text{C}$ で 5.6 億個に 1 個というごくわずかの割合で電離している。



この時、(ア)濃度 $[\text{H}^+]$ と (イ)濃度 $[\text{OH}^-]$ が等しい。

$$[\text{H}^+] = [\text{OH}^-] = 1.0 \times 10^{-7} \text{ mol/L}$$

水に酸を溶かすと(ウ)が増え、(エ)が減る。塩基を溶かすと、逆に、(エ)が増え、(ウ)が減る。

したがって、水溶液の性質は、(ウ) > (エ) では酸性、 $[\text{H}^+] = [\text{OH}^-] = 1.0 \times 10^{-7} \text{ mol/L}$ で(オ)、(ウ) < (エ) では塩基性である。

問 2 $1.0 \times 10^{-3} \text{ mol/L}$ のある 2 価の酸の水溶液 (電離度 0.50 とする)について、(1)～(4)に答えよ。温度は $25\text{ }^\circ\text{C}$ とする。なお、1 段階のみ電離する酸の分子は存在しないものとしてよい。

- (1) この水溶液の水素イオン濃度は何 mol/L か、有効数字 2 桁で答えよ。
- (2) この水溶液の pH を整数で答えよ。
- (3) この水溶液の水酸化物イオン濃度は何 mol/L か、下表を参考にして答えよ。
- (4) この水溶液は酸性、中性、塩基性のいずれであるか答えよ。

表 水溶液中の $[\text{H}^+]$ と $[\text{OH}^-]$ の関係 ($25\text{ }^\circ\text{C}$)

$[\text{H}^+]$	1	10^{-2}	10^{-3}	10^{-7}	10^{-8}	10^{-12}	10^{-14}
$[\text{OH}^-]$	10^{-14}	10^{-12}	10^{-11}	10^{-7}	10^{-6}	10^{-2}	1

問 3 1.0×10^{-6} mol/L の水酸化ナトリウムの水溶液について、(1)～(5)に答えよ。温度は 25 ℃ とする。

(1) この水溶液の水素イオン濃度は何 mol/L か、問 2 の表を参考に、有効数字 2 桁で答えよ。

(2) この水溶液が酸性、中性、塩基性のいずれであるかを確かめるために、水溶液の pH によって色が変わるプロモチモールブルーを指示薬として用いた。水溶液は何色を呈したかを答えよ。

(3) この水溶液を純水で 1000 倍に希釈した。この溶液の pH を整数で答えよ。

(4) プロモチモールブルーを含む(3)の希釈液では、水溶液は何色になるか答えよ。

(5) 次の液体は、一般的に下表の中の①～⑦のいずれに最も当てはまるか、番号で答えよ。

- ア) 食酢
- イ) 牛乳
- ウ) 換気扇用洗剤
- エ) セッケン水
- オ) しょうゆ

表 身のまわりの物質と pH の関係

pH													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦							

〔IV〕 次の問 1 ～ 3 に答えよ。

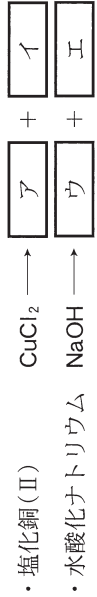
問 1 プロパン C_3H_8 を完全燃焼させると、二酸化炭素と水が生成する。この反応について(1)～(3)に答えよ。

- (1) この反応の化学反応式を答えよ。
- (2) この反応でプロパン 2.00 mol がすべて反応したとき、生成する水は何 mol か有効数字 3 桁で答えよ。
- (3) この反応で二酸化炭素が 33.6 L 生成した。この時、燃焼したプロパンは何 L か、有効数字 3 桁で答えよ。ただし、0 ℃、 1.013×10^5 Pa における体積とする。

問 2 塩化銅(Ⅱ) CuCl_2 水溶液に水酸化ナトリウム NaOH 水溶液を加えると、水酸化銅(Ⅱ) $\text{Cu}(\text{OH})_2$ の沈殿が生じる。この反応について(1)～(3)に答えよ。

(1) この反応の化学反応式を答えよ。反応により物質が沈殿することは矢印を用いて表せ。

(2) 塩化銅(Ⅱ)、および水酸化ナトリウムが水溶液中で、 $+$ や $-$ に分かれています。ア～エにあらはまる化学式を①～⑭より選んで番号で答えよ。



① 2Cu^+	② Cu^{2+}	③ 2Cu^-	④ Cu^{2-}
⑤ Cl^+	⑥ 3Cl^+	⑦ 3Cl^-	⑧ Cl^{3-}
⑨ Na^+	⑩ Na^{2+}	⑪ Na^-	⑫ Na^{2-}
⑬ OH^+	⑭ OH^{2+}	⑮ OH^-	⑯ OH^{2-}

(3) この反応のイオン反応式を答えよ。

問 3 マグネシウム Mg と塩化水素 HCl を反応させると、塩化マグネシウム MgCl_2 と水素 H_2 が生成する。この化学反応について、(1)～(4)に答えよ。なお、(3)～(4)は有効数字 3 桁で答えよ。

- (1) この反応の化学反応式を答えよ。
- (2) この反応で 0.100 mol のマグネシウムと 0.300 mol の塩化水素を反応させたとき、いずれの反応物が余るか答えよ。
- (3) (2)で余る反応物は、何 mol 余るか答えよ。
- (4) (2)の反応で生じる塩化マグネシウムは何 g か答えよ。

生 物 基 礎

問 2 次の文章を読み、(1)～(2)に答えよ。

〔 I 〕 次の問 1 ～ 2 に答えよ。

問 1 次の文章を読み、(1)～(4)に答えよ。

生物が行う呼吸の反応では、(ア)を利用して a.有機物を分解し、最終的に(イ)と(ウ)が生じる。この過程では、有機物がもっていた化学エネルギーを利用し、(エ)と(オ)を結合して(カ)が合成される。このような呼吸などの代謝では、(キ)とよばれる生体内ではたらく触媒によって反応が円滑に進行される。

(1) (ア) ～ (キ) にあてはまる最も適切な語句を答えよ。

なお、(イ) と (ウ)、(エ) と (オ) の解答の順序は問われない。

(2) (キ) の主成分を答えよ。

(3) 下線部 a. の具体的な物質を 2 つ答えよ。

(4) 真核生物が呼吸を行う細胞小器官を答えよ。

人工的に作られた物質には環境中や生体内で分解されにくいものがあり、このような物質がまわりの環境よりも高い濃度で生体内に蓄積される現象を生物濃縮という。このような物質は、(ク)を通して高次消費者により高濃度で蓄積して、生体に悪影響を及ぼすことが懸念される。

(1) (ク) にあてはまる最も適切な語句を答えよ。

(2) ある湖では、生息するプランクトン 1 kg に 50 mg の PCB (ポリ塩化ビフェニル) が蓄積していた。プランクトン 20 kg が 100 匹の小魚に捕食され、100 匹の小魚が、魚体重 500 g の大型魚に捕食された場合、魚体重 500 g の大型魚に蓄積される PCB は何 mg か答えよ。ただし、小魚と大型魚に取り込まれた PCB は、ともに 80 % が体内に蓄積されるものとする。

〔Ⅱ〕 次の問 1 に答えよ。

問 1 次の文章を読み、(1)～(4)に答えよ。

酵素の性質を調べるために、アミラーゼを使って実験 1～実験 3 を行った。

(実験準備)

寒天(タンパク質・脂質・糖質 0%)を蒸留水に入れ、加熱して溶かし、寒天が固まる前に、デンプンまたはゼラチン(タンパク質)を入れて寒天を固めた。

デンプンの入った寒天を「デンプン寒天」、ゼラチンの入った寒天を「ゼラチン寒天」とする。

(実験 1)

デンプン寒天の上に、アミラーゼ溶液を垂らしてしばらく放置した。その後、ヨウ素液を垂らして寒天の色を観察した。対照としてアミラーゼが入っていない溶液(溶液のみ)を使って同様に行った。

(実験 2)

ゼラチン寒天の上に、アミラーゼ溶液を垂らしてしばらく放置した。その後、タンパク質を鮮青色に染色する溶液を垂らして寒天の色を観察した。対照としてアミラーゼが入っていない溶液(溶液のみ)を使って同様に行った。

(実験 3)

100℃の湯せんで 10 分間加熱したアミラーゼ溶液を用いて、実験 1 と同様な操作を行い、色の変化を観察した。

- (1) 表の①～④にあてはまる、実験 1、実験 2 で得られた寒天の色を答えよ。なお、色の変化が見られなかった場合は、「変化なし」と解答すること。

	実験 1	実験 2
	デンプン寒天	ゼラチン寒天
溶液のみ	①	③
アミラーゼ溶液	②	④

- (2) 実験 1 と実験 2 の結果から分かる酵素の性質を漢字 5 文字で答えよ。

- (3) 表の⑤にあてはまる、実験 3 で得られた寒天の色を答えよ。

なお、色の変化が見られなかった場合は、「変化なし」と解答すること。

	実験 3
	デンプン寒天
加熱したアミラーゼ溶液	⑤

- (4) 実験 1 と実験 3 の結果から分かる酵素の性質を簡潔に答えよ (50 文字以内)。

〔Ⅲ〕 次の問 1 に答えよ。

問 1 次の文章を読み、(1)～(5)に答えよ。

次の(A)は、ある酵素の遺伝子としてはたらく DNA の、一方の鎖の塩基配列の一部である。また、この鎖は mRNA の鋳型にならない側の鎖であり、示されている範囲に開始コドンが含まれている。開始コドン以降は、タンパク質の合成に使用する塩基配列である。

CTCGGATGATCTGGATC …… (A)

- (1) (A)を左から順に読み取り、対応する鎖を左から順に答えよ。
- (2) (1)で問われている塩基配列を鋳型として合成される mRNA の塩基配列を答えよ。なお、答えは(A)の左端から対応する順に示すこと。
- (3) 遺伝暗号表を参考にして、(A)に含まれる開始コドンは、左から何番目から何番目までか答えよ。
- (4) (2)で問われている mRNA が翻訳されて生じたタンパク質の 3 番目のアミノ酸を答えよ。
- (5) 遺伝情報が、DNA→RNA→タンパク質の順に一方向に伝わる原則を何と言うか答えよ。

遺伝暗号表

コドンの 1 番目の塩基				コドンの 2 番目の塩基				コドンの 3 番目の塩基			
U	U		C	C		A	A		G	G	
	フェニルアラニン			セリン			チロシン			システイン	
	ロイシン						終止コドン			終止コドン	
							トリプトファン				
C	ロイシン		プロリン		ヒスチジン		アルギニン				
					グルタミン						
A	イソロイシン		トレオニン		アスパラギン		セリン				
					リシン		アルギニン				
	メチオニン (開始コドン)		アラニン		アスパラギン酸		グリシン				
バリン		グルタミン酸									

〔Ⅳ〕 次の問Ⅰに答えよ。

問Ⅰ 表について、(1)～(3)に答えよ。

ヒトの内分泌腺から分泌される主なホルモンとその働きについて示したものである。

内分泌腺	ホルモン	主な働き
脳下垂体前葉	(ア)	タンパク質の合成を促進する。 血糖濃度を上げる。
甲状腺	(イ)	代謝を促進する。
副腎皮質	(ウ)	タンパク質からの糖の合成を促して血糖濃度を上げる。
副腎髄質	(エ)	交感神経と協調する。 血糖濃度を上げる。
すい臓ランゲルハンス島 A 細胞	(オ)	血糖濃度を上げる。
すい臓ランゲルハンス島 B 細胞	(カ)	血糖濃度を下げる。

- (1) 表の(ア)～(カ)に入る適切なホルモンの名称を答えよ。
- (2) 自律神経やホルモンの働きによって、ヒトの体内環境が一定の範囲内に維持される仕組みのことを何というか答えよ。
- (3) 血液中にホルモンが分泌されて効果を発揮すると、その効果が前の段階に働きかけて、分泌を抑制する方向に作用することで、体内環境を維持するしくみがある。このような調節機構を何というか答えよ。

〔I〕 次の問1～問2の設問に答えなさい。

問1 次の(1)～(4)について、空欄に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

(1) Upon the students' request to postpone the examination, the professor (1) his hands up in anger.

- ① hit ② raised
- ③ passed ④ threw

(2) His words were never accepted by us because he was always too (2) of himself.

- ① full ② short
- ③ less ④ high

(3) If you don't like the design of these clothes, there are some other choices (3).

- ① disposable ② thankful
- ③ dreadful ④ available

(4) Newton, Galileo, Einstein and Hawking are all (4).

- ① processes ② geniuses
- ③ politics ④ economics

問2 次の(5)～(7)の文章に続く表現として最も適切と思われるものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

(5) (*Ode to the West Wind* by Percy Bysshe Shelley) If Winter comes,

- ① Autumn will come next.
- ② will Winter come again?
- ③ can Spring be far behind?
- ④ should Summer be cold?

(6) He was running up the stairs two at a time, because

- ① he was in a hurry.
- ② he had a lot of time.
- ③ he was deeply thinking about his future.
- ④ the stairs were too high.

(7) His leadership was somehow directionless like

- ① cars on the highway.
- ② ships drifting in the sea.
- ③ trains running on schedule.
- ④ arrows toward the board.

〔Ⅱ〕 次の問 1 ～問 4 の設問に答えなさい。

問 1 次の (8) ～ (10) の問いについて、最も適切と思われる答えを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選びなさい。

(8) Father: My words are always correct, aren't they?

Shelly: «silent»

Father: Hey! Say something!

Why was the father angry?

- ① Because Shelly was listening to him.
- ② Because Shelly gave wordless disapproval to his words.
- ③ Because Shelly didn't make fun of him.
- ④ Because Shelly lied to him.

(9) Becky: Can I borrow your fancy car tonight? Sally and I want to go to watch a movie.

Father: My expensive car just for a movie!?

Becky: Oh! What's wrong with that?

Why was Becky surprised?

- ① Because her father worried about her friend.
- ② Because her father wanted to watch the movie too.
- ③ Because her father made her take the bus.
- ④ Because her father didn't want to lend her his car.

(10) Sabrina: Hi Lucy! How have you been?

Lucy: Hi Sabrina! You are blocking my view again! You always have a way to make me feel small!

What did Lucy feel about Sabrina?

- ① Lucy is jealous of Sabrina's height.
- ② Sabrina always blocks Lucy's way by spreading her arms.
- ③ Lucy wants Sabrina to quit the volleyball team.
- ④ Lucy thinks she is taller than Sabrina.

問 2 次の(11)～(13)について、Bの心情として最もふさわしいものを、それぞ
れ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

- (11) A: What's the latest news? Did Kevin and Nancy break up?
B: Ummm... I'll have to zip my lips.
① B thinks that A is very caring toward Kevin and Nancy.
② B thinks that she cannot tell A what happened to Kevin and Nancy.
③ B thinks that A should date Nancy.
④ B thinks that A is too slow to find out information about Kevin and Nancy.
- (12) A: What do you think of Ted's brother?
B: He is a college student who doesn't shower enough and wears the same pair of jeans the whole week.
① B thinks that Ted's brother is a typical gentleman.
② B thinks that Ted's brother doesn't study at all.
③ B thinks that Ted's brother is a lazy and untidy college student.
④ B does not know much about Ted's brother.
- (13) A: How are your classmates at your university?
B: Many of them are only there to pass time.
① B thinks that many of her classmates are not eager to study.
② B thinks that going to university is a good way to kill time.
③ B thinks that she is a lot like her classmates.
④ B thinks that many of her classmates are busy.

問 3 次の会話を読み、空欄(14)～(17)に入れる答えとして最も適当なものを、
それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

A teacher visits his student's home to talk about class attendance.

- Mr. Colin: How have you been doing, Helena?
Helena: Nothing much. I'm happy being at home.
Mr. Colin: Why? You are young. You need to go to school like your classmates.
Helena: I don't feel like going out and going to school.
Mr. Colin: Is there something wrong? Can you tell me what happened?
Helena: Everyone hates me. They think that I am ugly. Nobody talks to me. So I hate them too.
Mr. Colin: Oh! Why would you think that? Nobody feels like that at all!
In fact, your classmates are worried about you. They are wondering why you haven't been to school for so long.
Helena: When I talk to someone, they are always looking at the scar on my face. They think I look strange. Even though I wear a mask, they are still looking at me. They don't want to talk to me because they don't like my face.
Mr. Colin: There are other classmates with different facial features too. Everyone has a unique appearance. Did you try to talk to anyone and make friends? Did anyone say something bad about your face or scar?
Helena: They don't have to say it. I just know it.

(14) Mr. Colin visits Helena because (14).

- ① Helena wants to see Mr. Colin again
- ② Mr. Colin wants to apologize to Helena for scolding her
- ③ Helena has not been to school for a while
- ④ Mr. Colin has never been to his student's house

(15) Helena has been absent from school because she thinks that (15).

- ① she does not need schooling
- ② she hates Mr. Colin
- ③ she has not been keeping up with class academically
- ④ everyone in her class does not like her

(16) Helena believes that her classmates do not want to talk to her because (16).

- ① she is ugly because of a scar on her face
- ② she talks too much and her classmates dislike her
- ③ she is an excellent student and has the highest grades in her class
- ④ she is taller than most of the boys in her class

(17) Mr. Colin is trying to convince Helena that her classmates do not hate her by telling her that (17).

- ① they clearly recognize her mental problems and are trying to help her
- ② they are worried about her and might not care about her appearance at all
- ③ they have talked with her a lot and know her well
- ④ they like her because she is funny for her awkward remarks

問 4 次の英語の投稿を読み、空欄(18)～(21)に入れる答えとして最も適当なものを、それぞれの①～④のうちから一つずつ選びなさい。

This is a live streaming video online with responses by the live viewers shown below.



Modified from source: <https://multivisiondigital.com/business-video-tips/to-use-youtube-for-video-marketing/>

① TwinGirls, I love you!

② Nice studio in a nice home!

③ New song! I'm really looking forward to hearing it!

④ No, this is not a new song they are recording. They are talking about their latest movie!

⑤ When is the movie out?

🗣️	Another romance movie? How boring!
👩👧	Did she change her hairstyle? I prefer the old one.
🎥	Is this how a recording studio looks like?
👂	Oooh! I love hearing about what goes on behind the scenes of the movie.
👀	I wish I can see their faces more clearly.
😊	Thomas Wilson is great as the male lead in the movie!
👍	I will watch the movie for sure!
👂	See you girls at your concert next month!
😞	Don't wear boots! It doesn't suit you!
😐	Nothing interesting about the movie so far.
🙄	Show us your faces closed-up!
👂	Sing that song please!
😞	First time acting. I hope you don't mess up!

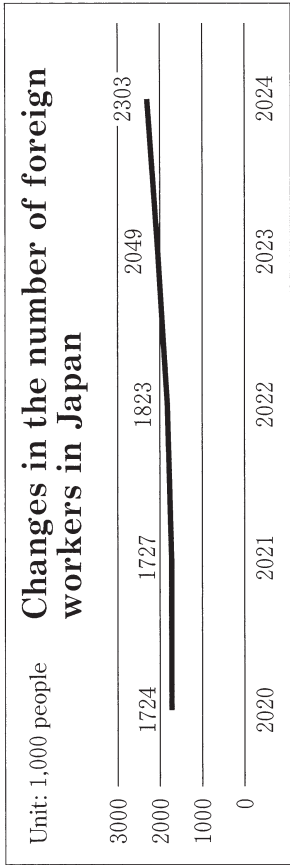
- (18) Some viewers misunderstand that (18).
- ① TwinGirls is talking about a new song
 - ② one of the TwinGirls wears boots
 - ③ TwinGirls is appearing in a movie for the first time
 - ④ one of the TwinGirls changed her hairstyle
- (19) Regarding the TwinGirls' latest movie, (19).
- ① all of the live viewers expressed high expectations
 - ② all of the live viewers expect it to be a horror story
 - ③ some live viewers already watched the movie and know the plot
 - ④ some live viewers are not interested in watching the movie
- (20) This live streaming online video does not appear to clearly show the (20).
- ① fashion style of the TwinGirls
 - ② studio of the TwinGirls
 - ③ TwinGirls' faces
 - ④ TwinGirls' hair style
- (21) In this live streaming, what the live audience did not talk about was the (21) of the TwinGirls.
- ① songs
 - ② dating life
 - ③ fashion style
 - ④ new acting debut

〔Ⅲ〕 次の問 1 ～問 2 の設問に答えなさい。

問 1 次のグラフ A と B を見て、(22)～(25)の答えとして最も適当なものを、
それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

The following are two graphs made using the Ministry of Health, Labor
and Welfare's 2024 annual report on foreign workers in Japan.

Graph A



Modified from source: Ministry of Health, Labour and Welfare, https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html

Graph B



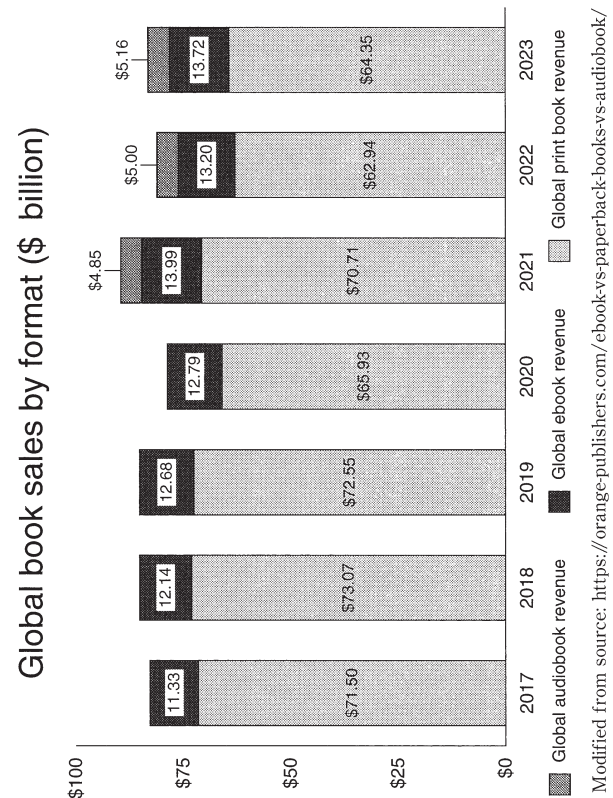
Modified from source: Ministry of Health, Labour and Welfare, https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_50256.html

- (22) According to Graph A, which of the following is correct?
- ① The number of foreign workers in Japan decreased from 2020 to 2021.
 - ② The number of foreign workers in Japan doubled from 2023 to 2024.
 - ③ Since 2020, the number of foreign workers in Japan has been increasing year by year.
 - ④ In 2023, the number of foreign workers in Japan exceeded 3,000,000 for the first time.
- (23) According to Graph B, which of the following is correct?
- ① Over the past five years, the largest number of foreign workers has been in the wholesale and retail industry.
 - ② Over the past five years, the lowest number of foreign workers has been in the construction industry.
 - ③ From 2020 to 2021, the accommodation and food services industry showed no increase in the number of foreign workers.
 - ④ From 2022 to 2023, the medical care and welfare industry showed a decrease in the number of foreign workers.

- (24) With reference to both graphs, which of the following is the most likely prediction for the number of foreign workers in Japan?
- ① The number of foreign workers in Japan would have continued to increase gradually in 2025.
 - ② The number of foreign workers in Japan would have experienced a sudden drop in 2025.
 - ③ The number of foreign workers in Japan would have tripled in 2025.
 - ④ The number of foreign workers in Japan would have remained exactly the same in 2025.
- (25) From the graphs, what can we say about the working society in Japan?
- ① Japanese people will only communicate with each other, so intercultural skills are not needed.
 - ② There will be more and more foreign companies in Japan.
 - ③ English will become the main language that everyone speaks.
 - ④ Japan is experiencing increasing globalization as more foreign workers come to Japan.

問 2 次のグラフを見て、(26)～(29)の答えとして最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

The following graph shows global book sales according to the type of book.



Despite the convenience of audiobooks and ebooks, the data above shows that audiobooks and ebooks are not growing a lot (A) sales. In fact, print books has remained the highest (A) sales (B) 2017. This data clearly suggests that print books have not lost their popularity and continue to be the favorite choice of book format (C) readers.

- (26) Which of the following best fits (A) ~ (C) in the description of the graph?
- ① (A) → since (B) → among (C) → in
 - ② (A) → among (B) → in (C) → since
 - ③ (A) → in (B) → among (C) → since
 - ④ (A) → in (B) → since (C) → among
- (27) According to the graph, which of the following is correct?
- ① The market for book sales is increasing every year.
 - ② The market for print books is still good although it is moving up and down.
 - ③ The markets for audiobooks and ebooks are decreasing.
 - ④ The popularities of print books, audiobooks and ebooks are the same.
- (28) According to the graph, which of the following is NOT correct?
- ① The sales of ebooks have always been less than \$15 billion.
 - ② The market for audiobooks became known from 2021.
 - ③ In 2022, the print book market declined during the COVID-19 pandemic.
 - ④ Ebooks were not known to the market in 2018.
- (29) Which of the following CAN be said about the global book industry?
- ① Readers need to stop reading print books and start reading ebooks.
 - ② Print books have some positive qualities that make readers continue to buy them.
 - ③ Audiobooks are only useful for those who cannot read.
 - ④ Companies will stop printing books since the world is going digital.

〔Ⅳ〕 次の英文を読んで設問に答えなさい。

“Intercultural communication” is a popular topic in foreign language education in Japan. As many can guess, intercultural communication refers to the interaction between people of different cultural backgrounds. Cultural differences could refer to differences in language, nationality, religion, gender and many more. Modern English education in Japan promotes the development of intercultural competence, which is the skill of communicating well with people of different cultural backgrounds, such as foreigners. However, (30) scoring well in English ability tests, how do we know how good is someone in intercultural competence?

Cultural experts have developed many different models to measure intercultural competence. Among them, a famous American researcher of culture and society, Milton Bennett, created the Developmental Model of Intercultural Sensitivity (DMIS) in 1986. The DMIS measures intercultural sensitivity of an individual by analyzing how an individual views cultural differences.

The DMIS has six stages, namely, Denial, Defense, Minimization, Acceptance, Adaption and Integration. It is believed that a person goes through the stages like a process and changes his or her perception of cultural differences. In the first stage, Denial, the person is not interested in other cultures and avoids contact with them. The person sees his or her own culture as the only “real” culture. In the Defense stage, the person becomes more aware of other cultures, but he or she sees the differences too simply, like “us” versus “them.” The person also feels attacked by the differences. In the Minimization stage, the person recognizes the cultural differences more but tries to reduce the differences. The person believes that everyone is the same, like himself or herself, and does not truly understand the differences.

In the fourth stage, Acceptance, the person accepts that his or her own

cultural viewpoint is one of the many cultural systems that are around. The person wants to learn more about other cultures and tries to observe differences more clearly. In the fifth stage, Adaptation, the person has a good understanding of other cultures. He or she is able to change his or her communication styles or worldview to act well according to different cultural situations. In the sixth and last stage, Integration, the person is able to move in and out of various cultures and changes his or her mindset and viewpoints smoothly. The person now has developed high intercultural sensitivity.

The DMIS has been used heavily in intercultural education and training to show the progression of intercultural skills and competence. At which stage of the DMIS are you and at which stage do you hope to get to?

問 本文の内容に関する(30)～(35)に対する答えとして最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選びなさい。

(30) Which of the following choices is most suitable for (30)?

- ① with regard to
- ② unlike
- ③ concerning
- ④ due to

- (31) According to the article, which statement is true of “intercultural communication”?
- ① Intercultural communication refers to differences in language, nationality, religion, gender, and many others, and is often used in English education in Japan.
 - ② Intercultural communication refers to communication through English, and this ability can be properly assessed through English ability tests.
 - ③ Intercultural communication refers to the ability to communicate through multiple languages, and to acquire this ability, one must speak many languages.
 - ④ Intercultural communication is used to describe interactions with people from different cultural backgrounds, such as foreigners, and is a popular topic in English education in Japan.
- (32) Which statement is NOT correct about the DMIS?
- ① The DMIS has six stages.
 - ② The DMIS stands for the Developmental Model of Interpersonal Sensibility.
 - ③ The DMIS was created in 1986.
 - ④ The DMIS was developed by an American researcher.
- (33) According to the article, which statement is true of the DMIS’s second stage called “Defense”?
- ① In the Defense stage, people are not aware of the cultural differences.
 - ② In the Defense stage, people are not interested in other cultures.
 - ③ In the Defense stage, although people have simple awareness of cultural differences, they feel threatened by those differences.
 - ④ In the Defense stage, people tend to avoid contact with other cultures.
- (34) According to the article, which statement is true of the DMIS’s fourth stage called “Acceptance”?
- ① In the Acceptance stage, people are willing to learn more about other cultures.
 - ② In the Acceptance stage, people have a good understanding of other cultures.
 - ③ In the Acceptance stage, people are able to change their mindset and viewpoints smoothly.
 - ④ In the Acceptance stage, people see their own culture as the only “real” culture.

(35) According to the DMIS, how does a person achieve the highest level of intercultural sensitivity?

- ① The person can learn more about various cultures.
- ② English language education in Japan is designed to help the person develop high intercultural communication skills.
- ③ The person can integrate various cultures and switch in and out of them while changing mindsets and viewpoints.
- ④ The person can use the DMIS a lot in intercultural education and training.

令和 8 年度 一般選抜試験問題解答例

国語 配点 100 点

- 〔一〕 問一 (ア) あなど (イ) 一斉
(ウ) もぐ (エ) 鈍重 (オ) 会釈
(2 点 × 5)
- 問二 (1) ④ (2) ① (3) ② (3 点 × 3)
- 問三 冬が来たことを悟らせずにはおかぬ
強い意志 (5 点)
- 問四 ③ (7 点)
- 問五 ⑤ (8 点)
- 問六 ③ (7 点)
- 問七 ④ (7 点)
- 問八 ④ (7 点)

〔二〕 (甲)

- 問一 (ア) 統合 (イ) 利己
(ウ) 成熟 (エ) 飛躍 (2 点 × 4)
- 問二 (1) ③ (2) ④ (3) ③ (3 点 × 3)
- 問三 他者とのケアのかかわりを通じて、ケ
アする人自身がある力を得たり、自分
という存在の確認をしたりする
(4 点)
- 問四 ④ (5 点)
- 問五 ① (5 点)
- 問六 ③ (5 点)
- 問七 ① (4 点)

〔二〕 (乙)

- 問一 (1) ⑤ (2) ① (3) ③ (3 点 × 3)
- 問二 ④ (7 点)
- 問三 ② (6 点)
- 問四
責め | させ | たまへ | ど |
(完答で 4 点)
- 問五 宮 (4 点)
- 問六 ② (7 点)
- 問七 清少納言 (3 点)

令和 8 年度 一般選抜試験問題解答例

理科 配点100点

化学基礎

I (25 点)

- 問 1 (1) 混合物 (2 点)
 (2) 窒素 (2 点)
 (3) ① ③ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ (2 点)
 (4) ① ③ ⑥ (1 点)
 (5) 同素体 (1 点)
 (6) ⑤ と ⑧ (1 点)
 (7) C・S・P (3 つ正解で 2 点)
- 問 2 (1) 状態変化 (2 点)
 (2) ① : e ② : d ③ : c
 ④ : b ⑤ : a (1 点 × 5)
 (3) 融点 (1 点)
 (4) 凝固点 (1 点)
 (5) ア : ③ イ : ② ウ : ①
 エ : ④ オ : ⑤ (1 点 × 5)

II (25 点)

- 問 1 (1) ① : K ② : Na ③ : Fe ④ : Sn
 ⑤ : Hg ⑥ : Pt (1 点 × 6)
 (2) Al > Ni > Pt (1 点)
 (3) 析出した物質 : 銅
 ⑦ : Cu ⑧ : Fe²⁺ (1 点 × 3)
- 問 2 (1) ダニエル電池 (電池はなくても可) (1 点)
 (2) エ : 2e⁻ オ : Cu²⁺ カ : Zn²⁺ (1 点 × 3)
 (3) 正極 : イ 負極 : ア 酸化 : ア
 還元 : イ (1 点 × 4)
 (4) 亜鉛板または Zn ➡ 銅板または Cu (2 点)
- 問 3 (1) ア : 鉄鉱 イ : 石灰 ウ : 銑鉄
 エ : 銅 (1 点 × 4)
 (2) コークスまたは C (1 点)

III (25 点)

※単位がない解答は減点、問 2-(1),(2)、問 3-(1)

- 問 1 ア : 水素イオン

イ : 水酸化物イオン

ウ : [H⁺] / 水素イオン濃度 (オキソニウムイオン、濃度は数でも可)

エ : [OH⁻] / 水酸化物イオン濃度 (濃度は数でも可)

オ : 中性 (1 点 × 5)

- 問 2 (1) 1.0 × 10⁻³ mol/L
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)
 (2) pH3 / 3 [整数以外は誤答] (1 点)
 (3) 1.0 × 10⁻¹¹ mol/L (3 点)
 (4) 酸性 (1 点)
- 問 3 (1) 1.0 × 10⁻⁸ mol/L
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)
 (2) 青色 (1 点)
 (3) pH7 / 7 [整数以外は誤答] (2 点)
 (4) 緑色 (1 点)
 (5) ア : ② イ : ④ ウ : ⑦
 エ : ⑤ オ : ③ (1 点 × 5)

IV (25 点)

※単位がない解答は減点、問 1-(2),(3),(4)、問 3-(3),(4),(5)

- 問 1 (1) C₃H₈ + 5O₂ → 3CO₂ + 4H₂O (2 点)
 (2) 8.00 mol
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)
 (3) 11.2 L / 1.12 × 10 L / 1.12 × 10 L
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)
- 問 2 (1) CuCl₂ + 2NaOH → 2NaCl + Cu(OH)₂ ↓ (2 点)
 (2) ア : ② イ : ⑦ ウ : ⑨ エ : ⑮ (1 点 × 4)
 (3) Cu²⁺ + 2OH⁻ → Cu(OH)₂ ↓
 [下向き矢印はなくても減点なし] (2 点)
- 問 3 (1) Mg + 2HCl → MgCl₂ + H₂ (2 点)
 (2) 塩化水素 / HCl (1 点)
 (3) 0.100 mol / 1.00 × 10⁻¹ mol
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)
 (4) 9.53 g
 [有効数字の間違えは -2 点] (3 点)

令和 8 年度 一般選抜試験問題解答例

理科 配点 100 点

生物基礎

I (33 点)

問 1 (1) (ア) 酸素

(イ) 二酸化炭素 or 水

(ウ) 二酸化炭素 or 水

(エ) ADP (アデノシン二リン酸)

or リン酸

(オ) ADP (アデノシン二リン酸)

or リン酸

(カ) ATP (アデノシン三リン酸)

(キ) 酵素

(2 点 × 7)

(2) タンパク質 (3 点)

(3) グルコース (糖・炭水化物・でんぷ
ん) or タンパク質 (アミノ酸) or 脂
質 (脂肪・脂肪酸・グリセリン) or
有機酸など (3 点 × 2)

(4) ミトコンドリア (3 点)

問 2 (1) (ク) 食物連鎖 (3 点)

(2) 640 mg (4 点)

II (23 点)

問 1 (1) ① 青紫色

② 変化なし

③ 鮮青色

④ 鮮青色 (3 点 × 4)

(2) 基質特異性 (3 点)

(3) ⑤ 青紫色 (3 点)

(4) 湯せんで加熱したことにより、アミ
ラーゼ (タンパク質) のはたらきが
失われた。 (5 点)

III (19 点)

問 1 (1) GAGCCTACTAGACCTAG (3 点)

(2) CUCGGAUGAUCUGGAUC (4 点)

(3) 6 番目～8 番目 (3 点)

(4) トリプトファン (5 点)

(5) セントラルドグマ (4 点)

IV (25 点)

問 1 (1) (ア) 成長ホルモン

(イ) チロキシン

(ウ) 糖質コルチコイド

(エ) アドレナリン

(オ) グルカゴン

(カ) インスリン

(3 点 × 6)

(2) 恒常性 or ホメオスタシス (4 点)

(3) 負のフィードバック or 負のフィード
バック制御 (性質) or フィードバック
or フィードバック制御 (性質)

(3 点)

令和 8 年度 一般選抜試験問題解答例

英語 配点 100 点

〔Ⅰ〕	問 1	(1) ④	(2) ①	(3) ④	(4) ②	(2 点× 4)
	問 2	(5) ③	(6) ①	(7) ②		(2 点× 3)
〔Ⅱ〕	問 1	(8) ②	(9) ④	(10) ①		(2 点× 3)
	問 2	(11) ②	(12) ③	(13) ①		(3 点× 3)
	問 3	(14) ③	(15) ④	(16) ①	(17) ②	(3 点× 4)
	問 4	(18) ①	(19) ④	(20) ③	(21) ②	(3 点× 4)
〔Ⅲ〕	問 1	(22) ③	(23) ③	(24) ①	(25) ④	(3 点× 4)
	問 2	(26) ④	(27) ②	(28) ④	(29) ②	(3 点× 4)
〔Ⅳ〕	問	(30) ②				(3 点)
		(31) ④	(32) ②	(33) ③	(34) ①	(35) ③

試験会場までの案内

本学会場

盛岡大学

岩手県滝沢市砂込808番地
〒020-0694 ☎019-688-5560

交通案内……………

◎盛岡市内から
岩手県北バスぬまぐない「沼宮内行」乗車
「盛岡大学前」下車

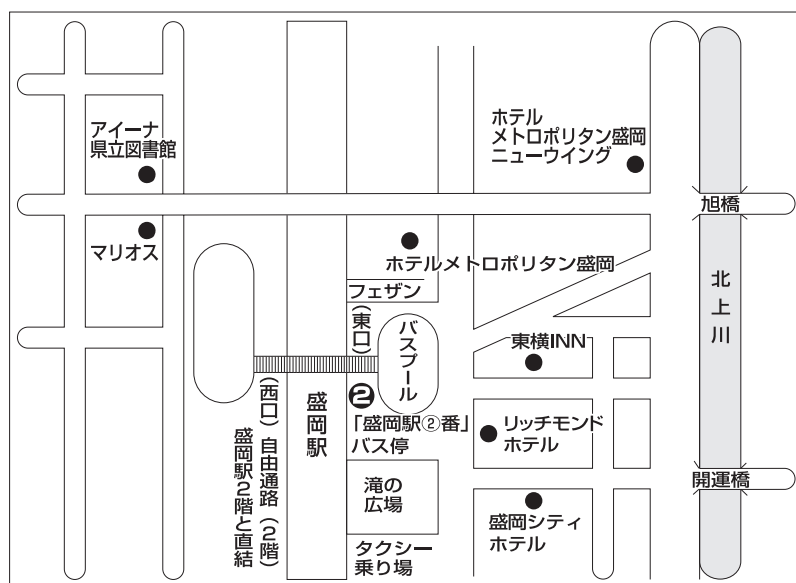
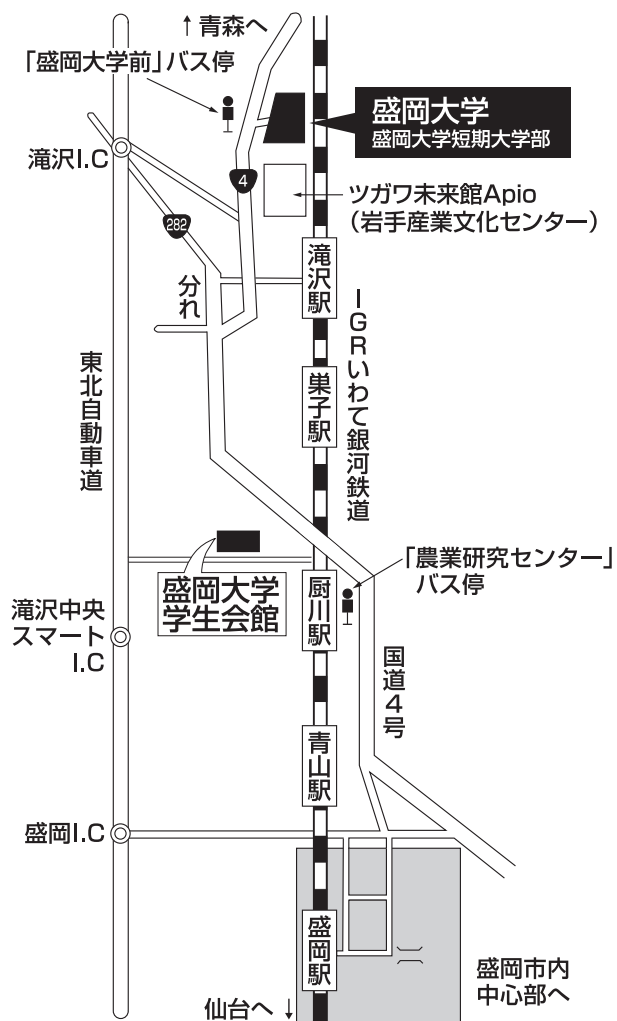
所要時間

「盛岡バスセンター③番」から約40分
「盛岡駅東口②番」から約30分

◎自動車で

東北自動車道滝沢インターチェンジより国道4号を
青森方面に向かい約5分

*「盛岡駅東口②番」のバス停は下図参照



令和9年2月7日(日)

交通案内.....

◎JR 仙台駅西口 徒歩 3 分
◎南北線仙台駅（地下鉄） 徒歩 3 分



令和9年2月7日(日)

交通案内.....

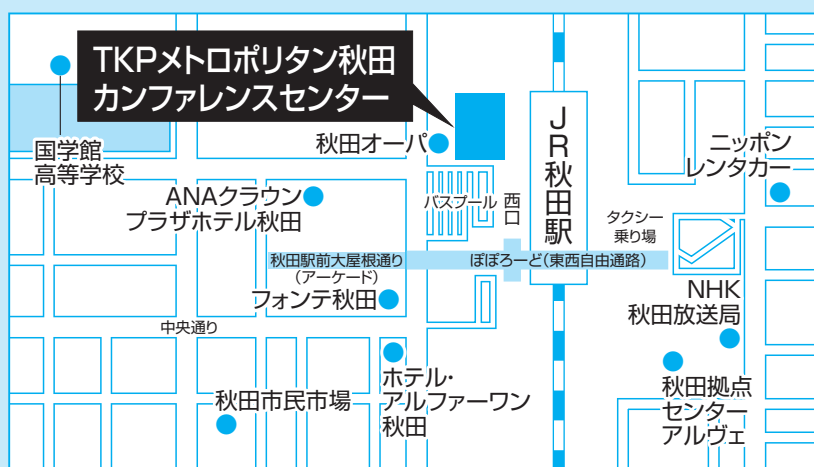
◎JR 青森駅 徒歩 8 分



令和9年2月7日(日)

交通案内.....

◎JR 秋田駅西口 徒歩 1 分



- 総合型選抜（専願制）要項
- 特別選抜要項（願書）
- その他資料請求

はこちらから



〒 020-0694 岩手県滝沢市砂込 808 番地

盛岡大学・盛岡大学短期大学部 入試センター

☎ 019-688-5560（直） ☎ 019-688-5555（代）

<https://www.morioka-u.ac.jp/>

E-mail : mcnyushi@morioka-u.ac.jp

盛岡大学・盛岡大学短期大学部 資料請求における個人情報の取扱いについて

ご提供いただいた個人情報は、学内で管理し、大学案内や願書、オープンキャンパスの案内等本学の情報の発信のため以外には使用しません。学内資料作成のために個人を特定しない形で、統計的な調査に使用する場合があります。

今後、本学からの資料の発送等の情報提供が不要の場合は本学入試センターにご連絡ください。